

PRAVION

PM250TA/TAH/TAH-B 取扱説明書



2012年 03月 23日 第3版

浜松東亜電機株式会社

改訂履歴

版数	日付	内容	OS Rev
1 版	2009 年 11 月 18 日	新規制定	25.05 以降
2 版	2011 年 06 月 01 日	OS バージョンアップに伴う改訂	25.08 以降
3 版	2012 年 03 月 23 日	OS バージョンアップに伴う改訂	25.11 以降

目次

1	安全上のご注意	6
1-1	安全上のご注意	6
1-1-1	警告レベルの説明	6
1-1-2	絵表示の説明	6
1-2	バッテリーパックの取り扱い	7
1-3	PM2.5の取り扱い	8
1-4	無線通信機能の取り扱い	10
1-5	AC電源の取り扱い	11
1-6	免責事項について	12
2	各部の名称	13
2-1	正面図	13
2-2	背面部	14
2-3	側面及び下面	15
3	ご使用前の準備	16
3-1	バッテリーパックの装着	16
3-2	バッテリーの充電	18
3-3	電源ON/OFFの操作について	20
3-4	リセット方法について	20
3-5	OSのアップデート及び再インストールについて	21
3-6	タッチスクリーン上の操作について	21
3-7	タッチスクリーン調整・日付設定	22
3-8	デスクトップレイアウト	24
3-9	CTRLキー、FUNCキー ショートカット一覧	26
4	バーコードのスキャン	27
4-1	基本操作	27
4-2	スキャナのレーザー照射方法について	28
4-3	バーコードがうまく読めない時の対処	29
5	各種設定	30
5-1	エラーレポーター	30
5-2	PCとの接続プロパティ	31
5-3	アプリケーションの削除	32
5-4	インターネットオプション	33
5-4-1	全般	33
5-4-2	接続	33
5-4-3	セキュリティ	34
5-4-4	プライバシー	35
5-4-5	詳細設定	36
5-4-6	ポップアップ	37
5-5	キーボードのプロパティ	38
5-6	キーボード設定	39
5-7	システムのプロパティ	40
5-7-1	全般	40
5-7-2	メモリ	40

5-7-3	デバイス名	41
5-7-4	著作権	41
5-8	システムインフォメーション	42
5-9	スキャナ構成	43
5-9-1	基本設定	43
5-9-2	通知	45
5-9-3	ウェッジ	45
5-9-4	コード種別	46
5-9-5	詳細	47
5-9-6	バージョン	48
5-10	スタイラスのプロパティ	49
5-10-1	ダブルタップ	49
5-10-2	タッチスクリーンの補正	49
5-11	ターミナルサーバーのクライアントライセンス	50
5-12	ダイヤルのプロパティ	51
5-13	デバイス管理	52
5-14	ネットワークとダイヤルアップ接続	53
5-15	パスワードのプロパティ	58
5-16	バックライト	59
5-16-1	バッテリー	59
5-16-2	外部電源	59
5-16-3	キーボード	60
5-17	ボリューム&サウンドのプロパティ	61
5-17-1	ボリューム	61
5-17-2	サウンド	61
5-18	画面のプロパティ	62
5-18-1	背景	62
5-18-2	表示	62
5-19	記憶域のプロパティ	63
5-20	所有者情報のプロパティ	64
5-20-1	所有者情報	64
5-20-2	メモ	64
5-20-3	ネットワーク ID	65
5-21	証明書	66
5-22	地域と言語の設定	67
5-22-1	地域	67
5-22-2	言語	67
5-22-3	入力	68
5-23	電源	69
5-23-1	バッテリー	69
5-23-2	電源 OFF	69
5-23-3	CPU パワー設定	70
5-23-4	バッテリー低下通知設定	70
5-23-5	WakeUpソース	71




5-24	日付/時刻の設定	72
5-25	入力パネルのプロパティ	73
5-26	無線 LAN 設定	74
5-26-1	状態	74
5-26-2	IP	74
5-26-3	設定	75
5-26-4	詳細設定	76
6	プリインストールソフトウェア	77
6-1	ワードパッド	77
6-2	インターネットエクスプローラ	77
7	仕様	78
7-1	PM250仕様	78
7-2	クレードル、E-クレードル仕様	80
7-3	マルチバッテリー充電器仕様	81
付録1	サンプルバーコード	82

1 安全上のご注意

1-1 安全上のご注意




本書には使用される方や他の人々への危害及び財産の損害を未然に防ぎ、正しく安全にお使い頂くため重要な内容が記載されています。次の内容（警告レベル・絵表示）をよく理解してから本文をお読み頂き、記載事項をお守り下さい。
警告レベル及び絵表示の内容は以下の通りです。

1-1-1 警告レベルの説明

 危険	この表示を無視し取り扱いを誤った場合、使用者及び他の方が死亡または重傷 ¹ を負う危険が生じる事が想定される内容を示します。
 警告	この表示を無視し取り扱いを誤った場合、使用者及び他の方が死亡または重傷 ¹ を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視し取り扱いを誤った場合、使用者及び他の方が傷害 ² を負う可能性が想定されるか、または物的損害 ³ の発生が想定される内容を示します。

- 1：重傷とは、「失明」「怪我」「火傷(高温・低温)」「感電」「骨折」「中毒」等で、後遺症が残るもの及び治療に入院や長期通院を要するものを指します。
- 2：傷害とは、治療に入院や長期通院を要さない程度の「怪我」「火傷(高温・低温)」「感電」を指します。
- 3：物的損害とは、設備・資産・建築物及び家畜等に関わる損害を指します。




1-1-2 絵表示の説明

 禁 止	⊘記号は、禁止（行ってはならないこと）を示します。 具体的な禁止事項は、⊘記号の内側もしくは近くに絵や文章にて示します。
 指 示	●記号は、強制される指示（必ず行って頂くこと）を示します。 具体的な指示事項は、⊘記号の内側もしくは近くに絵や文章にて示します。
 注 意	△記号は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意事項は、⊘記号の内側もしくは近くに絵や文章にて示します。

1-2 バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックの誤った取り扱いは「感電」「発熱」「発煙」「発火」「破裂」の原因となります。下記事項を良くお読み頂き、記載事項を守り正しくご使用下さい。


⚠ 危険

	<p>分解・修理・改造はしないでください。 火災、感電、けがの原因となります。 修理につきましては購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。</p>
	<p>水や海水等につけたり、濡らしたりしないでください。 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。 炎天下やストーブの近くなど高温（50 以上）になる場所で充電したり放置したりしないでください。 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。 引火性ガスの発生するような場所で充電しないでください。 バッテリーパックの+極と-極を針金等の金属で接続しないでください。 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。 このバッテリーパックはPM250専用です。このバッテリーパックをPM250以外に使用しないでください。</p>
	<p>充電には専用充電器を使用してください。 異臭や発熱、変形、変色等異変に気づいた際には、直ちに使用を中止してください。 充電の際に所定の充電時間¹を超えても充電が完了しない際には、充電をやめてください。 万一バッテリーパックが漏液して液が目に入った時は、目をこすらず、直ぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。放置すると失明、視力低下の原因となります。</p>



1-3 PM250の取り扱い

本機の誤った取扱いは「感電」「発熱」「発煙」「故障」の原因となります。
下記事項を良くお読み頂き、記載事項を守り正しくご使用下さい。

警告

	<p>分解・修理・改造はしないでください。 火災、感電、けがの原因となります。 修理につきましては購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。</p>
	<p>内部に異物を入れないでください。 万一異物が本機内部に入った場合は、電源を切り、購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。そのまま使用しますと火災、感電、けがの原因となります。 電子レンジや高圧容器に入れないでください。 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。 引火性ガスの発生するような場所で使用しないでください。 炎天下やストーブの近くなど高温(60 以上)になる場所で使用したり放置したりしないでください。</p>
	<p>本体ケース等を破損した場合は、電源を切り、購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。そのまま使用しますと火災、感電の原因となります。 異臭や発熱、変形、変色等異変に気づいた際には、直ちに使用を中止し、購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。 そのまま使用しますと火災、感電の原因となります。</p>
	<p>本機は、レーザー光で対象をスキャンします。 レーザー光を直接見たり、人の目に向けたりしないでください。 失明、視力の低下の原因となります。</p>

⚠ 注意

	<p>本機は、IP64¹に準拠した防水・防塵加工を施していますが、台風などの強風、強雨での使用は推奨致しません。万一これらの環境で故障した場合、保証の対象外となりますので予めご了承下さい。</p>
	<p>本体タッチパネルに必要以上の負荷を与えないでください。 万一 LCD パネルが割れてしまった場合、内部から流れ出してきた液体に手を触れないでください。液体が手に付いてしまった場合は、直ぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流してください。 機械油やグリスなどの油類のついた手や手袋で触らないでください。 機器の変形や変色の原因となります。</p>

1 : IP64 の保護等級について

人体及び固形物に対する保護等級...6 (種類 : 耐塵形)

(粉塵が内部に進入しない)


水の進入に対する保護等級...4 (種類 : 飛沫に対する保護)

(いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない)



1 - 4 無線通信機能の取り扱い

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局等が運用されています。

警告

	<p>病院内や医療機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能を切るか本機の電源を切ってください。</p> <p>医療機器等に影響を与え事故の原因となる恐れがあります。</p> <p>心臓ペースメーカー装着部位から 22cm 以上離してご使用ください。</p> <p>電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、本機の無線通信機能を切るか本機の電源を切ってください。</p> <p>電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を及ぼす場合があります。</p> <p>航空機内では本機の無線通信機能を切るか本機の電源を切ってください。</p> <p>電子機器等に影響を与え事故の原因となる恐れがあります。</p>
---	---







注意

	<p>次のような場所では、無線通信出来ない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2.4/5GHz 帯の電波を使用する機器の近く （電波の干渉により通信出来ないことがあります。）・ パソコン・TV 等電磁波を発生する家電製品の近く （電磁ノイズにより通信出来ないことがあります。）・ 金属物の近くや金属壁で囲まれた場所 （金属の影響により通信出来ないことがあります。）
	<p>本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていない事を確認してください。</p> <p>万一、本機と「他の無線局」間で電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止（電波の発射を停止）してください。</p>

1-5 AC電源の取り扱い

本機の誤った取り扱いは「感電」「発熱」「発煙」「故障」の原因となります。
下記事項を良くお読み頂き、記載事項を守り正しくご使用下さい。

警告

	<p>分解・修理・改造はしないでください。 火災、感電、けがの原因となります。 修理につきましては購入先または浜松東亜電機(株)にご連絡ください。</p>
	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電、けがの原因となります。</p>
	<p>水や海水等につけたり、濡らしたりしないでください。 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、 加熱しないでください。</p>
	<p>電源を抜く際には、電源プラグを持ちコンセントから抜いてください。 電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災、感電の原因と なります。 長時間ご使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグを コンセントから抜いてください。 移動する際やお手入れする際には、安全のため必ず電源プラグを コンセントから抜いてください。</p>
	<p>必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。専用品以外の AC アダプタ を使用すると火災、感電の原因となります。 万一電源コードが傷んだり、異臭や発熱、変形、変色したり異変に 気づいた際には、直ちに使用を中止し、購入先または浜松東亜電機(株)に ご連絡ください。そのまま使用しますと火災、感電の原因となります。</p>

1 - 6 免責事項について

地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本機の使用または使用不能から生じる付随的な傷害（事業利益の損害、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

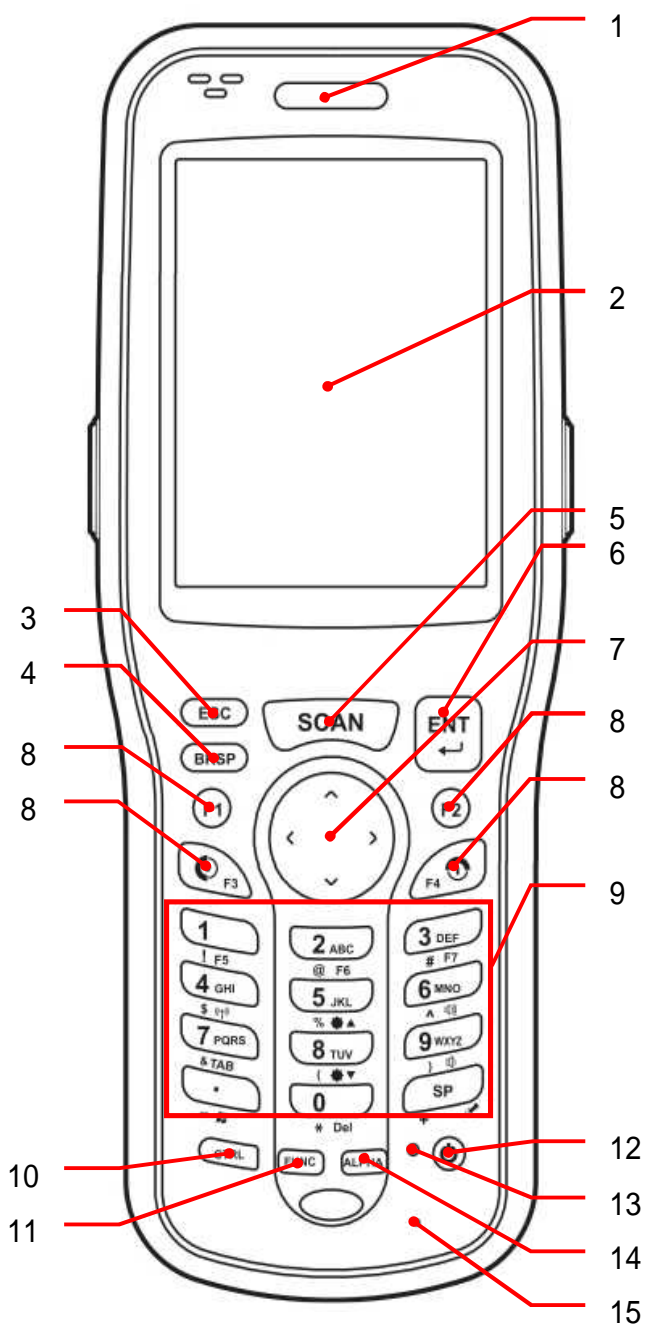
接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

万一、本機使用により生じた損害、逸脱利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

故障、修理その他の理由に起因する記録の失敗や記録内容の消失による損害及び逸脱利益等に関して、当社は一切の責任を負いません。

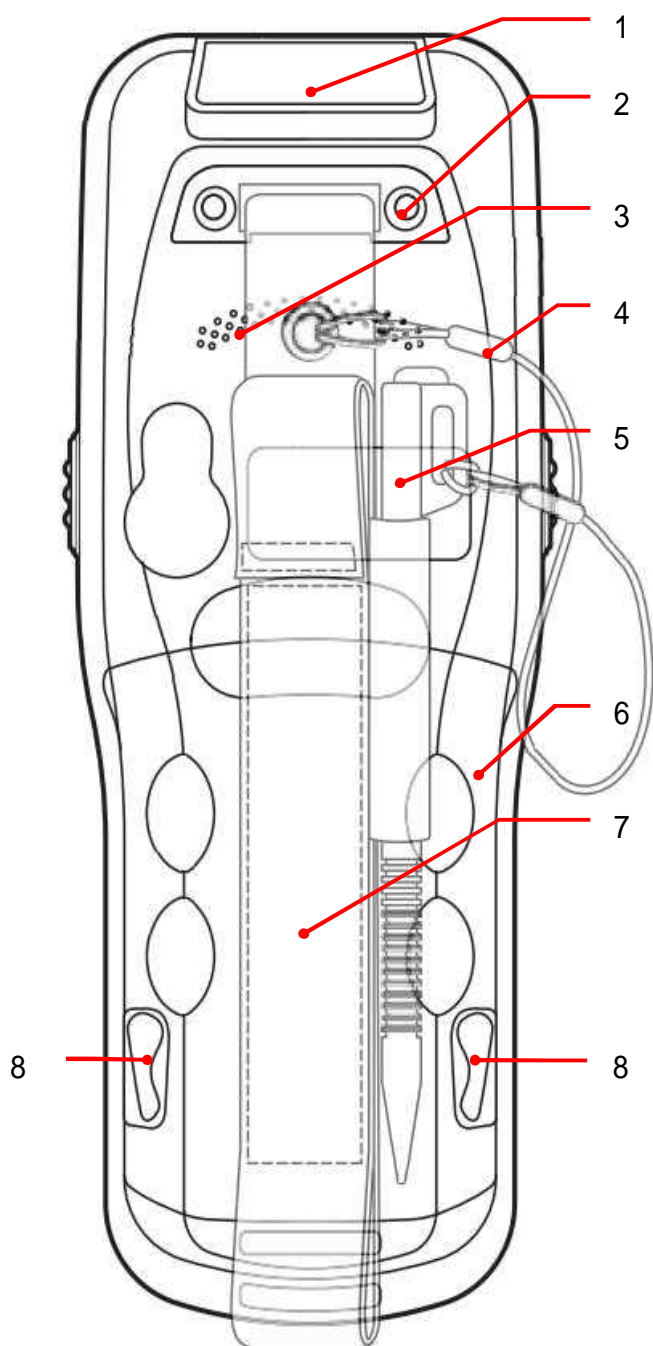
2 各部の名称

2-1 正面図



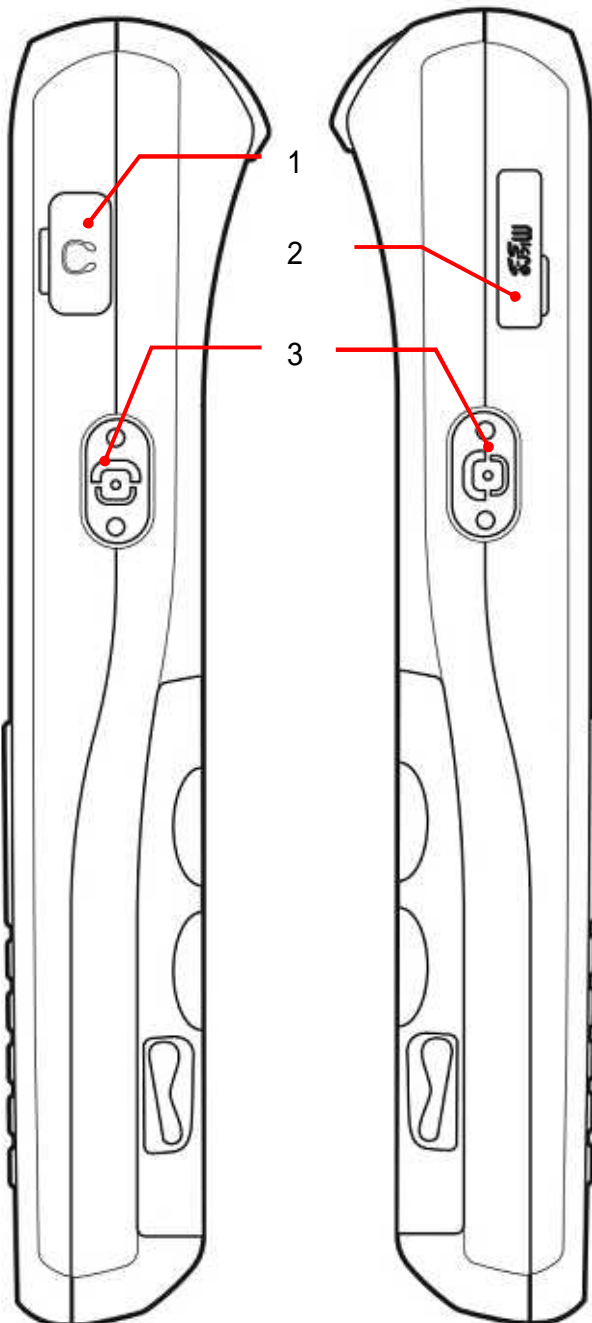
- 1 LED ランプ
充電時、スキャン時、データ読み書き時に点灯します。
- 2 タッチスクリーンディスプレイ
画面が表示されます。
- 3 ESC(エスケープ)キー
動作を中止/キャンセルします。
- 4 BKSP(バックスペース)キー
カーソルの直前にある文字を1文字削除します。
- 5 SCAN(スキャン)キー
バーコードスキャンを行います。
- 6 ENT(エンター)キー
入力データの確定や操作を実行します。
- 7 カーソルキー
カーソル移動を行います。
- 8 F1~4 キー
各ボタンに機能を割り当てて使用します。
- 9 数字キー
文字及び数字を入力します。
- 10 CTRL(コントロール)キー
数字キーと組み合わせることにより数字キー上の黄文字を入力します。
- 11 FUNC(ファンクション)キー
数字キーと組み合わせることにより数字キー上の青文字の機能が使用できます。
- 12 電源キー
電源を ON/OFF します。
- 13 ソフトウェアリセットキー
スタイラスペンで押すことによりソフトウェアリセットを行います。
- 14 ALPHA(アルファ)キー
文字入力モードを切り替えます。
- 15 マイク
音声を入力します。

2 - 2 背面部

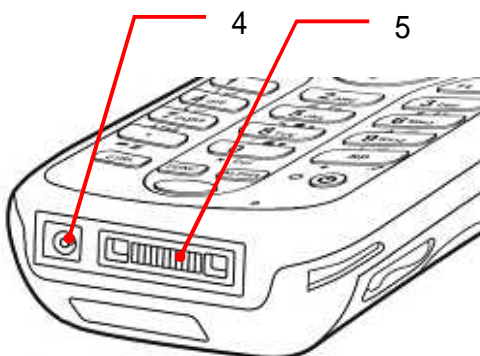


- 1 スキャナウィンドウ
バーコードスキャンを行う際、
レーザーが出力される部分です。
- 2 ハンドストラップ取付用ネジ穴
ハンドストラップを取り付ける際に
必要な部分です。
- 3 スピーカー
音を出力します。
- 4 ストラップ
スタイラス紛失を防止します。
- 5 スタイラスペン
タッチスクリーンを使用する際、
細かい操作が必要とされる際に使用します。
- 6 バッテリカバー
バッテリー BOX のカバーです。
- 7 ハンドストラップ
作業中誤って本機を落としてしまうのを
防止するストラップです。
- 8 カバーピン
バッテリーカバーを固定します。

2 - 3 側面及び下面



- 1 イヤホンジャック端子
2.5mm のモノラルタイプイヤホンや
ヘッドセットを挿入する際に使用します。
- 2 MicroSD カードスロット
MicroSD カードを実装する際に使用します。
- 3 サイドスキャンキー
バーコードスキャンを行います。
- 4 電源ジャック
AC アダプタを接続する端子です。
- 5 I/O コネクタ
クレードル、USB Sync ケーブルと接続する
端子です。



3 ご使用前の準備

3-1 バッテリーパックの装着

1. ハンドストラップを緩めてください。



2. カバーピンを本体上部へ回し、バッテリーカバーを外します。



3. ラベルを上にし、本体とバッテリーパックの端子をあわせてはめ込みます。



(カチッと音になるまで
バッテリーパックの端子部
を上から軽く押してくだ
さい。)

4. バッテリーカバーのツメを合わせてはめ込みます。



5. カバーピンを本体下部へ回し、バッテリーカバーを固定します。



3-2 バッテリの充電

お買い上げ時、バッテリーパックは充電されておりませんので、最初は最低でも 13 時間以上充電してください。

<充電方法>

1. 同梱のプラグアダプタをパワーアダプタに差し込みます。
(カチッと音がするまで差し込んでください。)



2. コンセントに AC アダプタを接続します。



3. 電源ジャックに AC アダプタを接続します。



充電に LED ランプが点灯します。

赤点灯...充電中です。

緑点灯...充電完了です。

注意事項

本製品はバッテリーパックを装着して使用する製品です。
バッテリーパックを装着しないで充電すると、LED ランプが赤と緑の点滅を繰り返します。

バッテリーパックを装着しないで AC アダプタを接続して本製品を使用するとバックアップバッテリーの寿命が通常より短くなる場合があります。必ず、バッテリーパックを装着して本製品をご使用ください。

また、本製品に AC アダプタを接続したままご使用いただくと、AC アダプタと接続する電源ジャック部分に負荷がかかり、故障の原因となります。
AC アダプタを外してから本製品をご使用下さい。

3-3 電源 ON / OFF の操作について

電源の ON

電源 OFF 時に電源キーを押すと本機が起動します。（長押しではありません。）

電源の OFF（サスペンドモード）

電源 ON 時に電源キーを押すとサスペンドモード（機器の電源を切る直前の状態を保存して、次に電源を入れた際に電源を切る直前の状態から作業を再開する機能）となります。（長押しではありません。）

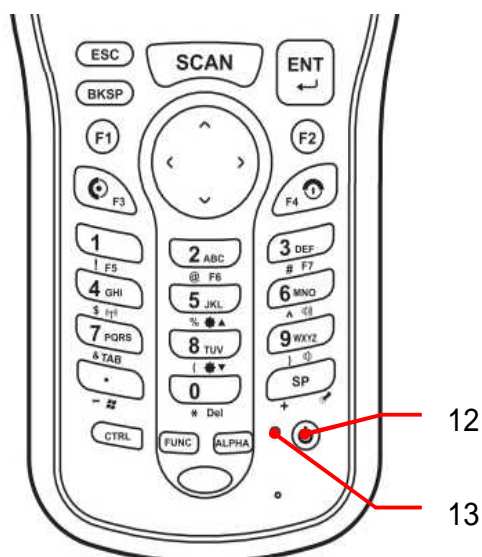
3-4 リセット方法について

ソフトウェアリセット...RAM データを消さずにリセットを行います。

1. スタイラスペンでリセットキー(下図：13)を押します。
2. リブートがかかり、再起動します。

ハードウェアリセット...RAM データを消してリセットを行います。

1. スタイラスでソフトウェアリセットキー(下図：13)を押します。
2. リセットキーを押したまま電源キー(下図：12)を押します。
3. リセットキーを離れた後に電源キーを離します。
4. リブートがかかり、ハードウェアとソフトウェアが再起動します。



3-5 OSのアップデート及び再インストールについて

OSのインストールについては別紙「OS アップデートマニュアル」をご参照下さい。

3-6 タッチスクリーン上の操作について

本機の液晶画面はタッチスクリーンになっております。画面に表示されているメニューやアイコン・ボタンを付属のスタイラスで操作することが出来ます。

- 「タップ」 ...タッチスクリーン上で1度押す操作です。
 PC上でのマウス操作の「クリック」に相当します。

- 「ダブルタップ」...タッチスクリーン上で同じ箇所を2度押す操作です。
 PC上でのマウス操作の「ダブルクリック」に相当します。

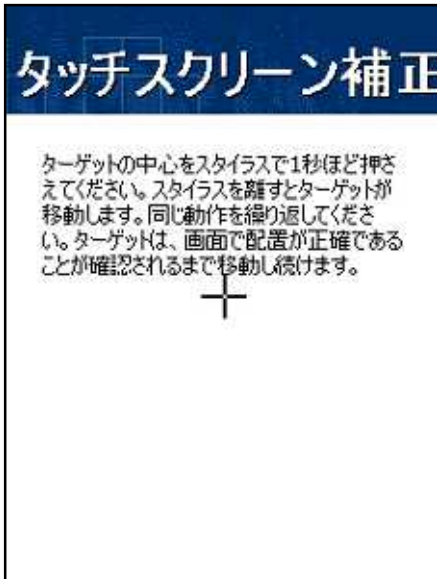
- 「長押し」 ...タッチスクリーン上を押したままにする操作です。
 PC上でのマウス操作の「右クリック」に相当します。

- 「ドラッグ」 ...タッチスクリーン上を押したままタッチペンをスライドさせる
 操作です。PC上でのマウス操作の「ドラッグ」に相当します。

3-7 タッチスクリーン調整・日付設定

お買い上げ後、初めて起動した時やバージョンアップ、ハードウェアリセットを行った際、タッチスクリーンのスタイラス座標調整と日付設定を行います。

スタイラス座標調整画面



画面上に「+」型のカーソルが表示されます。中心・左上・左下・右下・右上と「+」型のカーソルが移動しますので、それぞれのカーソルの中心をスタイラスペンで押して、座標を設定してください。

日付設定画面

スタイルで現在時刻及び日付を設定してください。



12月をスタイルでタップすると月の選択項目が表示されます。



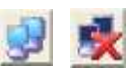









2008 をスタイルでタップすると年が変更できます。



3-8 デスクトップレイアウト



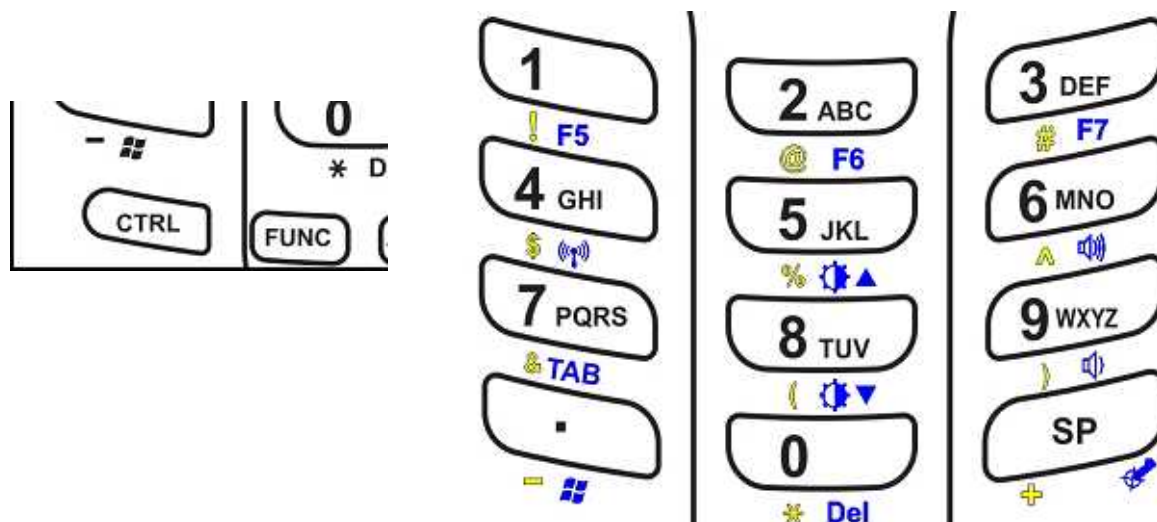
	スタートメニューを開きます。
	アクティブウィンドウ・デスクトップの切り替えを行います。
	WLAN が ON の時の使用状態を表示します。 左から順に「使用可能」「使用不可」を示します。 (WLAN が OFF の時はアイコンが表示されません)
	バッテリパックの残量及び外部電源の状態を表示します。 左から順に「満充電」「電池切れ」「充電中」「外部電源使用(充電済が電池無し)」を示します。 このアイコンをダブルタップすると電源設定へ移行します。
	キーボードでの入力文字の状態を表示します。 「ALPHA キー」にて入力文字の切り替えを行います。 左から順に「大文字」「小文字」「数字」を示します。
	スキャナデバイスの状態を表示します。 左から順に「有効(使用可能)」「無効(使用不可)」を示します。(スキャナが起動していない時は表示されません)
	LAN の接続状態を表示します。 左から順に「使用可能」「使用不可」を示します。 (LAN に接続されてない時はアイコンが表示されません)
	Bluetooth®デバイスが ON の状態の場合に表示されます。 (Bluetooth が OFF の時はアイコンが表示されません)
	USB ケーブルで PC に接続した場合に表示されます。
	現在の時刻を 24H 単位で表示します。 アイコンをダブルタップすると「日付/時刻のプロパティ」へ移行します。

	<p>「Turn Bluetooth On/Off」...Bluetooth®を ON / OFF します。 「Turn Wireless LAN On/Off」...WLAN を ON / OFF します。</p> <p>入力パネルの文字の切り替えを行います。（下記参照）</p>
---	--

< 入力パネルの種類 >

		<p>「キーボード」 ローマ字入力にて文字入力を行います。</p>
		<p>「手書き検索」 右枠にスタイラスペンで文字を書く事により左枠に文字候補が表示されます。左枠に表示された文字をタップする事で文字が入力されます。</p>
		<p>「手書き入力」 左右枠にスタイラスで文字を書く事により文字が直接入力されます。左枠 右枠 左枠...と連続して入力する事により素早く入力出来ます。</p>
		<p>「ひらがな / カタカナ」 五十音字入力にて文字入力を行います。</p>
		<p>「英数字」 英数字にて文字入力を行います。</p>
		<p>「文字一覧」 枠内に文字候補が表示されます。表示された文字をタップする事で文字が入力されます。</p>

3-9 CTRLキー、FUNCキー ショートカット一覧




「CTRL」+「1」	「！」を入力します。
「CTRL」+「2」	「@」を入力します。
「CTRL」+「3」	「#」を入力します。
「CTRL」+「4」	「\$」を入力します。
「CTRL」+「5」	「%」を入力します。
「CTRL」+「6」	「^」を入力します。
「CTRL」+「7」	「&」を入力します。
「CTRL」+「8」	「(」を入力します。
「CTRL」+「9」	「)」を入力します。
「CTRL」+「・」	「-」を入力します。
「CTRL」+「0」	「*」を入力します。
「CTRL」+「SP」	「+」を入力します。

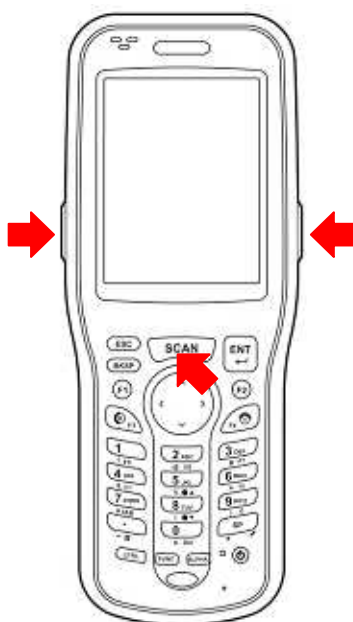
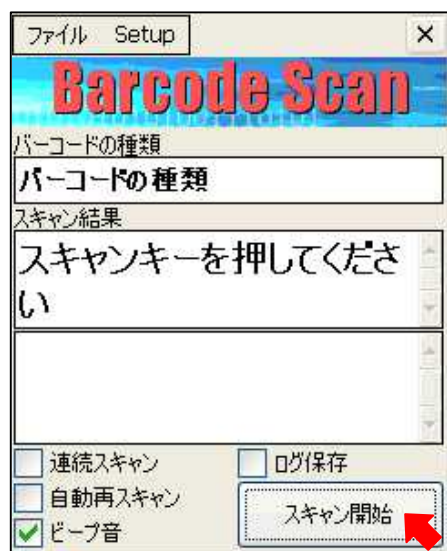
「FUNC」+「1」	F5 に割り当てられたプログラムを実行します。
「FUNC」+「2」	F6 に割り当てられたプログラムを実行します。
「FUNC」+「3」	F7 に割り当てられたプログラムを実行します。
「FUNC」+「4」	無線 LAN の電源を ON/OFF します。
「FUNC」+「5」	液晶画面の輝度を上げます。
「FUNC」+「6」	スピーカーの音量を上げます。
「FUNC」+「7」	TAB として機能します。
「FUNC」+「8」	液晶画面の輝度を下げます。
「FUNC」+「9」	スピーカーの音量を下げます。
「FUNC」+「・」	スタートメニューを起動します。
「FUNC」+「0」	DEL として機能します。
「FUNC」+「SP」	「タッチスクリーン補正」画面に移行します。

4 バーコードのスキャン

4-1 基本操作

本体デスクトップ画面より

 スタートメニュー プログラム Demos SCANNER Scan Demo
にてスキャナアプリケーションが起動します。



本機の SCAN キーもしくはサイドスキャンキーを押し続けるか、または画面上の「スキャン開始」ボタンを押す事でバーコードの読み取りを行います。

- 「バーコードの種類」...バーコードを読み取った際、バーコードの種類を表示します。
- 「スキャン結果」...読み取ったバーコードの内容を表示します。
- 「連続スキャン」...スキャンキーを押している間、バーコード読み込みを繰り返します。
- 「自動再スキャン」...「スキャン停止」ボタンが押されるまで、一定の間隔でバーコードの読み込みを繰り返します。
- 「ビープ音」...読み込み成功 / 失敗した際に音を鳴らします。
- 「ログ保存」...バーコードの読み取り結果をマイデバイス直下に保存します。
(「ScanLogfile.txt」というファイル名で保存されます。)

4-2 スキャナのレーザー照射方法について

正常に読める方向



理想的な方向です。



少し低め / 高め
...読み取り出来ます。



少し斜め
...読み取り出来ます。



バーコードが反対
...読み取り出来ます。

正常に読めない方向



右 / 左に寄りすぎ
...レーザーがバーコード全体に当たっていない為、
読み取り出来ません。



下過ぎ / 斜めすぎ
...レーザーが文字部分にかかっている為、
読み取り出来ません。



斜め過ぎ
...レーザーがバーコード全体に当たっていない為、
読み取り出来ません。



バーコードの線に合わせてレーザーを照射している
...レーザーがバーコード全体に当たっていない為、
読み取り出来ません。



隣接しているバーコードにもレーザーが当たっている
...どちらかのバーコードが読まれる為、
正常に読み取り出来ません。

4-3 バーコードがうまく読めない時の対処

読み取り対象と本機の角度によっては、バーコード印字面で反射したレーザー光や日光、室内光が部分的に極めて強くなり（これを鏡面反射といいます。）、読み取りにくくなる事があります。

バーコード印字面と本機の角度を変更するか、直射日光の当たらない場所や室内の光量を落とした場所で再度読み込みを行ってください。



コード面が湾曲していたり、コード面が汚れていたり、水滴がついていたりするとうまく読み取れない場合があります。

ラベル面を平らにしたりコード面の汚れや水滴を取り除いたりしてから再度読み込みを行ってください。



読み取るバーコードとの距離が近すぎたり、離れすぎたりしているとうまく読み取れない場合があります。

対象物との距離は 10cm ~ 20cm 位を推奨します。


スキャナウィンドウが汚れていると、うまく読み取れない場合があります。柔らかい布で汚れを拭き取るか、エアブラシでほこりを飛ばしてください。



スキャナウィンドウ

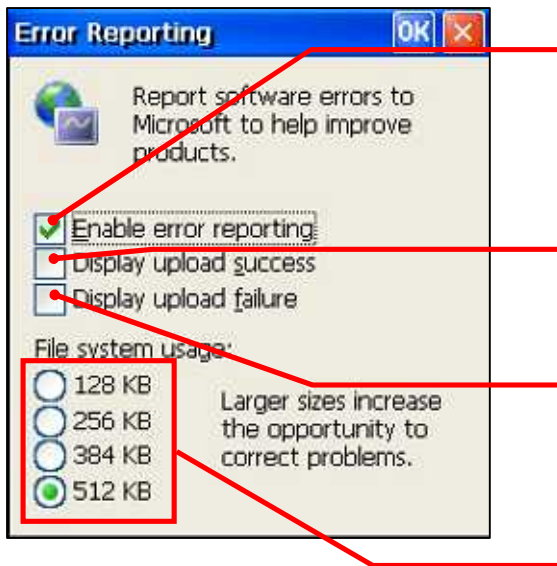
5 各種設定

本体デスクトップ画面より

 スタートメニュー 設定 コントロールパネルにて各種設定ができます。

5 - 1 エラーレポートイング

Windows にて問題が起きた場合、マイクロソフト社に報告する設定を行います。



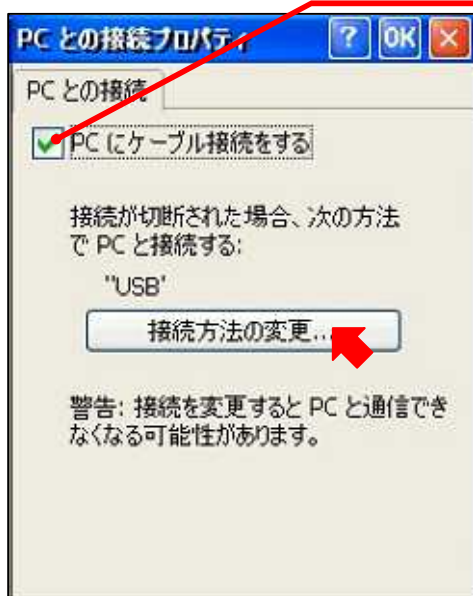
- チェックした場合、エラー内容をマイクロソフト社に報告します。チェックしない場合、報告しません。
- エラー報告に成功した場合、結果をディスプレイに表示します。チェックしない場合、表示しません。
- エラー報告に失敗した場合、結果をディスプレイに表示します。チェックしない場合、表示しません。
- エラー報告する際の送付データの容量を指定します。

5-2 PCとの接続プロパティ

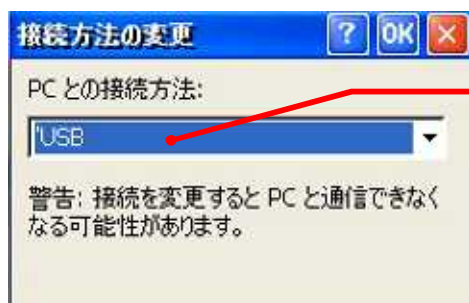
PC と接続を行う際の設定を行います。



PC との接続



- チェックした場合、USB ケーブルで接続が出来ます。
チェックしない場合、接続しません。

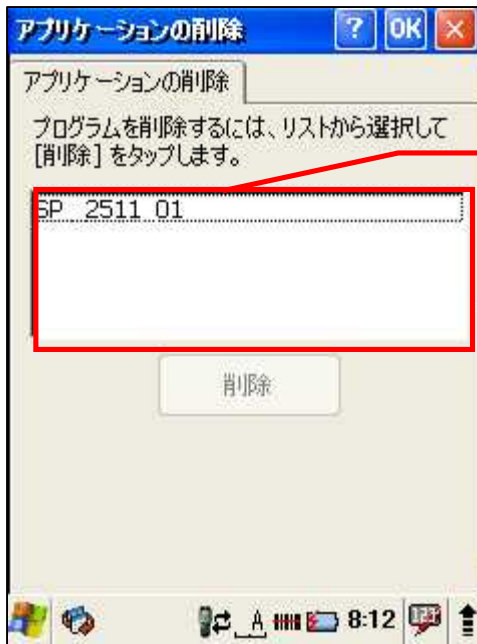


- PC との接続方法を選択します。

5 - 3 アプリケーションの削除



アプリケーション
の削除

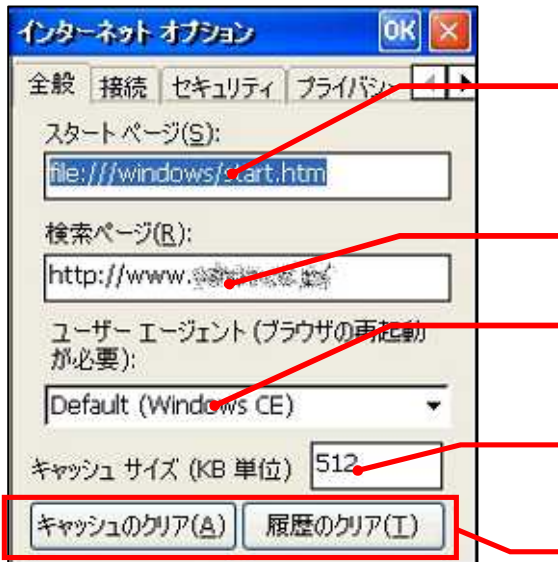


- 枠内から削除したい項目を選び、「削除」をタップする事でアプリケーションを削除します。

5 - 4 インターネットオプション

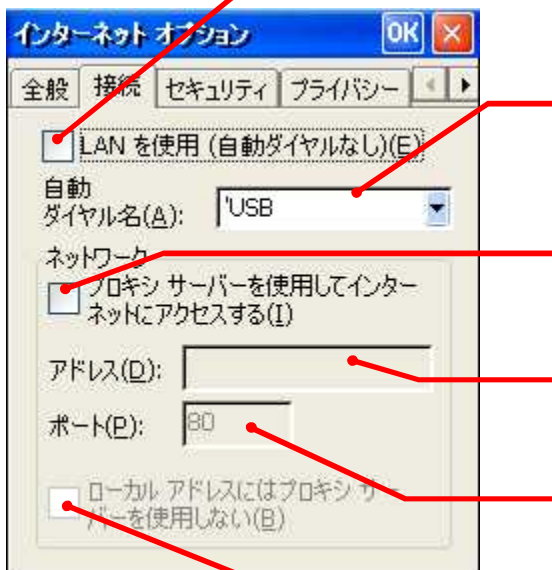


5 - 4 - 1 全般



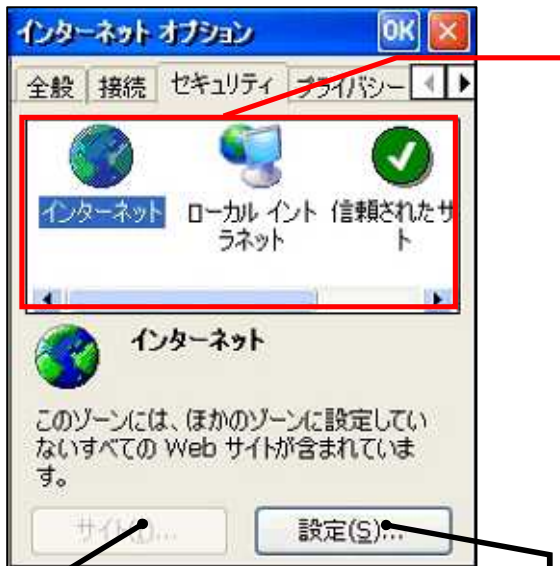
- ・インターネットエクスプローラを立ち上げた際、最初に立ち上がるページを設定します。
- ・検索ページを設定します。
- ・ユーザーエージェントを選択します。
- ・インターネットのキャッシュサイズを設定します。
- ・タップする事により、キャッシュ及び履歴のクリアを行います。

5 - 4 - 2 接続

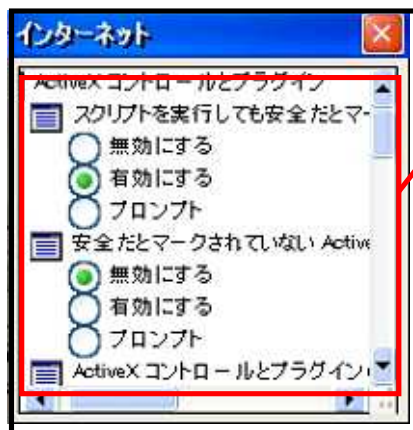


- ・チェックした場合、インターネットに接続する際、LANを使用します。(ダイヤルアップは行われなくなります。)
- ・ダイヤルアップにてインターネット接続を行う際に自動的に接続するダイヤルを設定します。
- ・チェックした場合、プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセスします。
- ・プロキシサーバーに設定されているアドレスを設定します。
- ・プロキシサーバーに設定されているポートを設定します。
- ・チェックした場合、ローカルアドレスにアクセスする際にプロキシサーバーを使用しません。

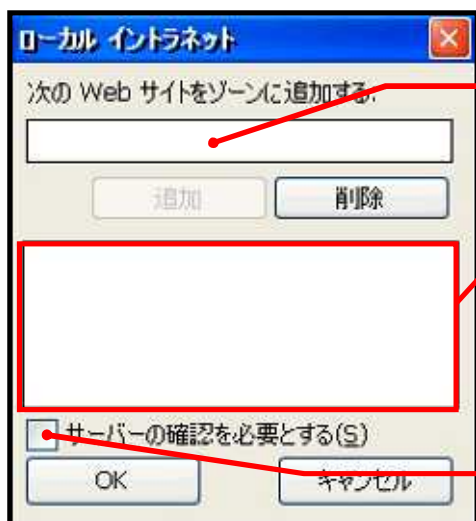
5 - 4 - 3 セキュリティ



- ・セキュリティを適用する条件を選択します。



- ・項目ごとにセキュリティを設定します。
(無効にする / 有効にする / プロンプト)

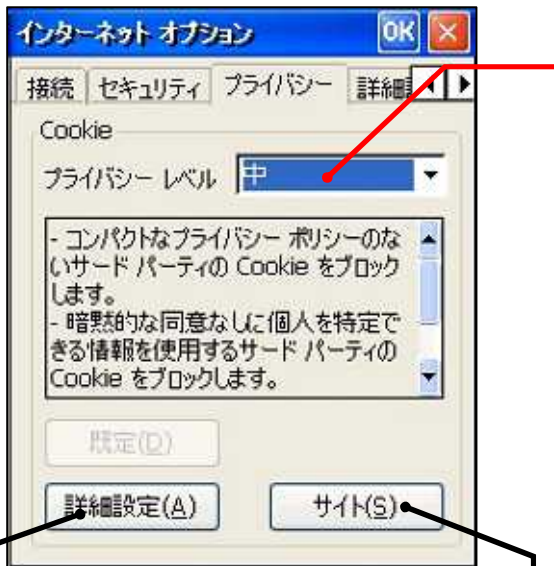


- ・セキュリティを適用しない Web サイトを登録します。

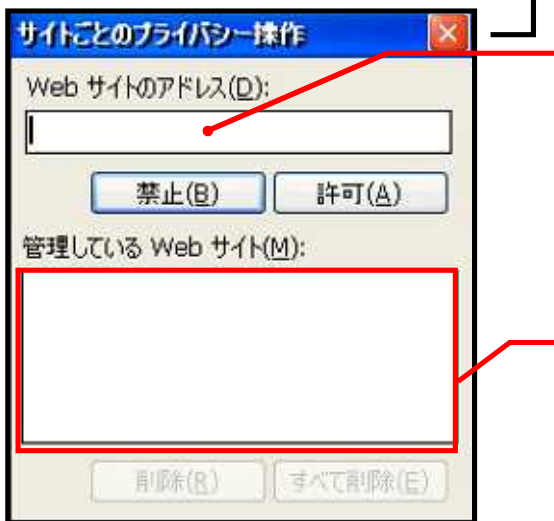
- ・上枠で登録された Web サイトの一覧が表示されます。

- ・チェックした場合、上記に登録された Web サイトにアクセスする際にサーバーの確認が必要になります。
チェックしない場合、サーバーの確認は必要なくなります。

5-4-4 プライバシー

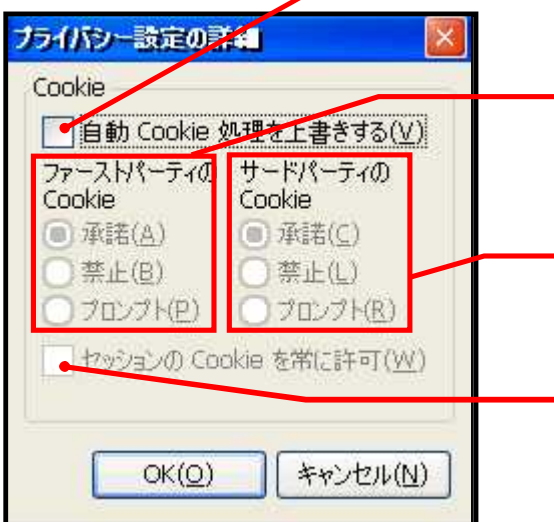


- Cookie の受け取り / ブロックを設定します。



- 個別に設定したい Web サイトを登録します。
(禁止 / 許可)

- 上枠で登録された Web サイトの一覧が表示されます。



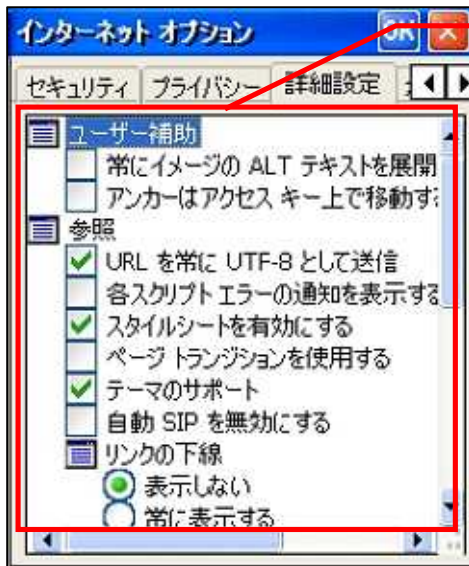
- チェックした場合、自動で Cookie が上書きされます。

- ファーストパーティの Cookie 処理を設定します。

- サードパーティの Cookie 処理を設定します。

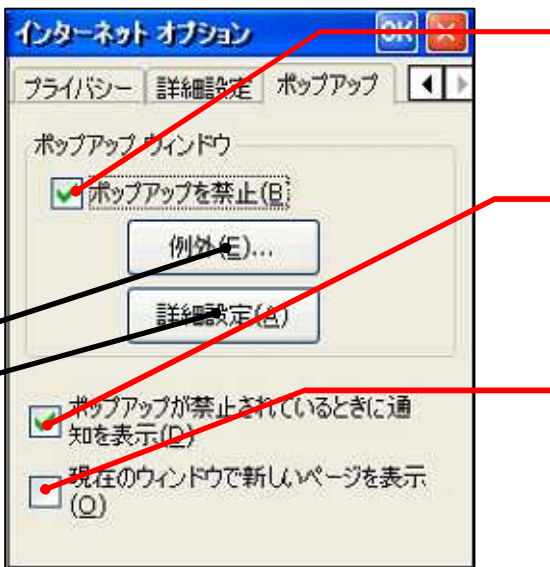
- チェックした場合、セッション cookie を常に許可します。

5 - 4 - 5 詳細設定

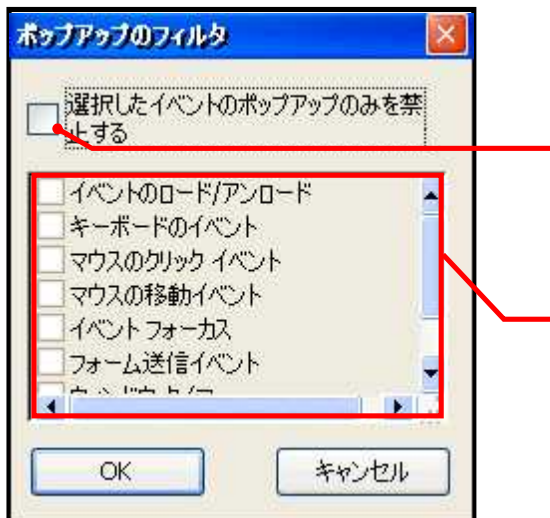


・インターネットの設定を個々に設定します。

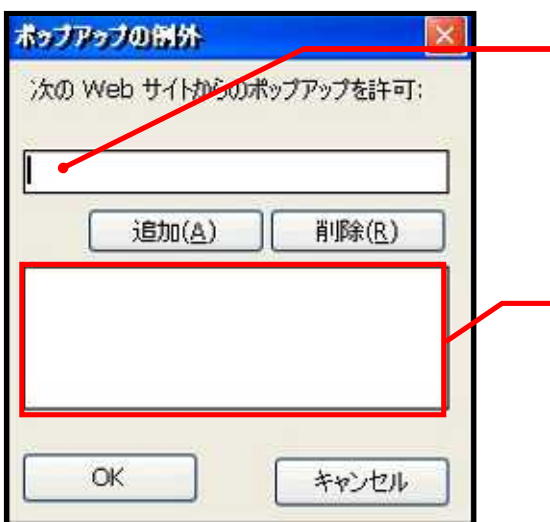
5-4-6 ポップアップ



- チェックした場合、ポップアップを禁止します。チェックしない場合、ポップアップが表示されます。
- チェックした場合、ポップアップを禁止している際に告知を表示します。チェックしない場合、告知されません。
- チェックした場合、新しいページに移動する際、新しくウィンドウを立ち上げずに既存のウィンドウを更新します。チェックしない場合、新しいウィンドウで新しいページが表示されます。



- チェックした場合、選択したイベントのポップアップを禁止します。
- ポップアップを禁止するイベントをチェックします。

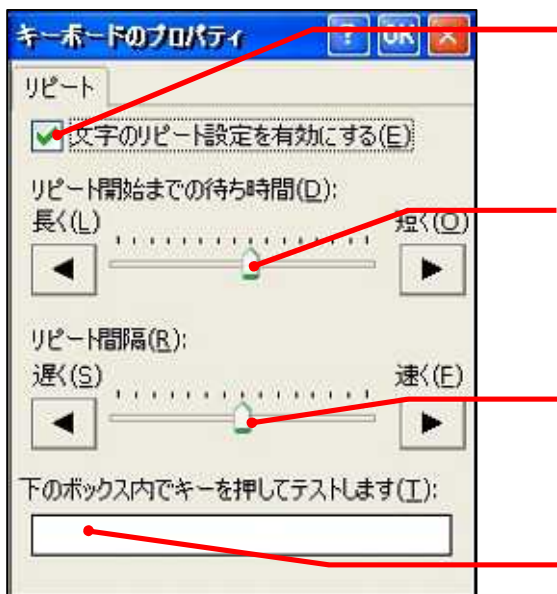


- ポップアップを許可したい Web アドレスを入力します。
- ポップアップを許可したサイトが一覧で表示されます。

5 - 5 キーボードのプロパティ



キーボード



- チェックした場合、キーを長押しした際に同じ文字を連続で入力します。チェックしない場合、1回だけ入力されます。(下記項目も設定出来なくなります。)
- 長押しを開始してからリポート入力になるまでの待ち時間を設定します。左にスライド：待ち時間が長くなります。右にスライド：待ち時間が短くなります。
- リポート入力の間隔を設定出来ます。左にスライド：間隔が長くなります。右にスライド：間隔が短くなります。
- 上記で設定した項目をテスト出来ます。ボックス内をタップし、いずれかのキーを長押ししてください。

5-6 キーボード設定

各ボタンに機能を割り当てます。



キーボード設定



- 各キーに機能を割り振る事が出来ます。割り振り可能なキーは以下の通りです。

ESC キー
BKSP キー
ENT キー
FRONT/LEFT/RIGHT SCAN キー
ナビゲーションキー (LEFT/RIGHT/UP/DOWN)
F1~7 (ファンクション) キー
WLAN (FUNC+数字「4」) キー
BRIGHT+ (FUNC+数字「5」) キー
VOLUM+ (FUNC+数字「6」) キー
TAB (FUNC+数字「7」) キー
BRIGHT- (FUNC+数字「8」) キー
VOLUM- (FUNC+数字「9」) キー
WINDOW (FUNC+数字「.」) キー
DELETE (FUNC+数字「0」) キー
CALIB (FUNC+数字「SP」) キー

- 設定を適用します。
- 割り振りを「application」に設定した場合、アプリケーションの場所を参照します。
- 設定をデフォルトにもどします。

5-7 システムのプロパティ



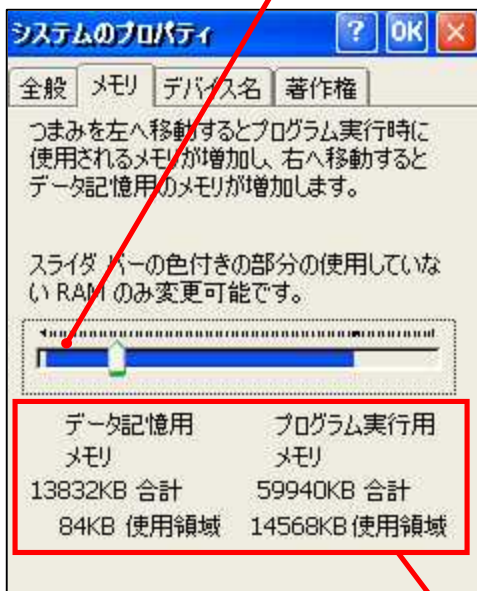
システム

5-7-1 全般



- 本機にインストールされているCPU、メモリ、拡張カードが表示されます。

5-7-2 メモリ



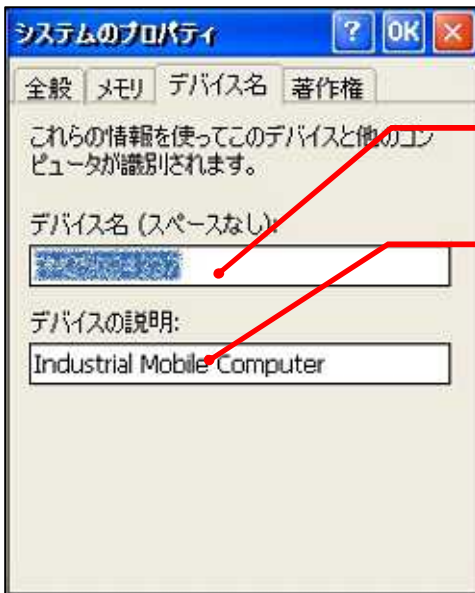
- 本機にインストールされているメモリの割り振りを行います。

左にスライド：プログラム実行用のメモリ使用領域が増加し、アプリケーションのパフォーマンスが向上します。但し、データ記憶用の使用領域が減少する為、本機に保存できるデータ量が減少します。

右にスライド：データ記憶用のメモリ使用領域が増加し、本機に保存できるデータ量が増加します。但し、プログラム実行用の使用領域が減少する為、アプリケーションのパフォーマンスは低下します。

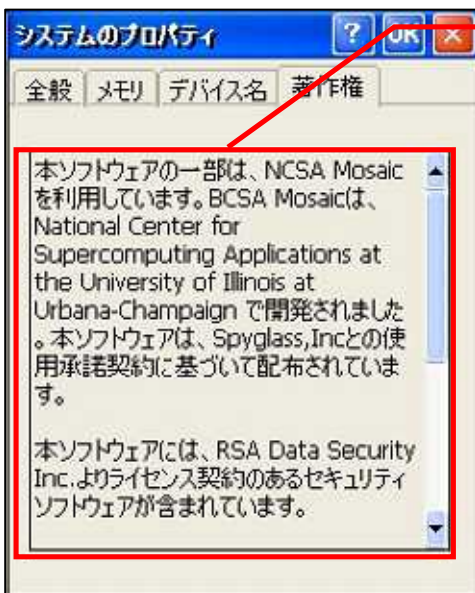
- 割り振りの状態及び現在使用している領域が表示されます。

5-7-3 デバイス名



- 他の端末と接続した場合に表示される本機の名称を設定します。
- 他の端末と接続した場合に表示される本機の説明を設定します。

5-7-4 著作権



- 本機に使用されているソフトウェアの著作権情報が記載されています。

5 - 8 システムインフォメーション



システムインフォ
メーション



- ・リフレッシュ
タップする事により、最新の情報に更新されます。
- ・ファイルに保存する
タップすることにより、現在の情報がテキストファイルにて保存されます。
ファイル名: SysInfo.txt
保存先: マイデバイス直下
- ・現在のステータスが表示されます。

5-9 スキャナ構成

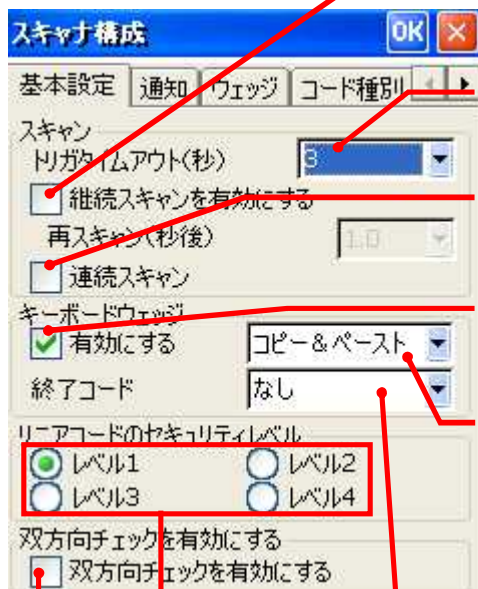
スキャナの設定を変更します。

5-9-1 基本設定



スキャナ構成

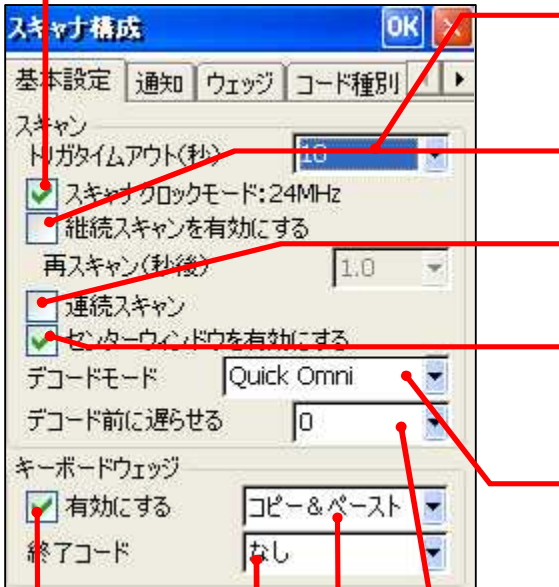
PM250TA (1Dモデル)



- ・チェックした場合、連続で読み込みを行います。
(最小 0.25 秒 ~ 最大 7.5 秒。0.25 秒間隔)
- ・SCAN キーを押してから読み取り終わるまでの時間を設定します。(最小 1 秒 ~ 最大 10 秒。1 秒間隔)
- ・チェックした場合、スキャンキーを押している間、バーコード読み込みを繰り返します
- ・チェックした場合、読み込んだバーコードデータをテキスト表示します。
- ・読み込んだバーコードデータの処理方法です。
コピー & ペースト：データが確定された状態で表示されます。
キーボードイベント：データが確定していない状態で表示されます。
- ・バーコードデータをテキスト表示した後に行われる処理です。
なし：何も行いません。
CRLF：改行し、カーソルが列の先頭へ移動します。
CR：改行します。
LF：カーソルが列の先頭へ移動します。
スペース：スペースを挿入します。
タブ：タブを挿入します。
STX-ETX：テキストデータを送信します。
- ・スキャナのリニアセキュリティレベルを設定します。
レベル 1 ... 読み取るバーコードタイプが「Codabar」「MSI」「D 2of5」「I 2of5」の場合、2 回読み込みに成功すれば読み取り OK とします。
レベル 2 ... 読み取るすべてのバーコードタイプで 2 回読み込みに成功すれば読み取り OK とします。
レベル 3 ... 読み取るバーコードタイプが「MSI」「D 2of5」「I 2of5」の場合、3 回読み込みに成功すれば読み取り OK とします。
レベル 4 ... 読み取るすべてのバーコードタイプで 3 回読み込みに成功すれば読み取り OK とします。
- ・チェックした場合、双方向読み込みを行います。

PM250TAH/TAH-B (2Dモデル)

- ・チェックした場合、スキャナ動作周波数が 24MHz となります。
レスポンスが上がりますが、バッテリーの消耗も大きくなり、EMI 値も上がり
ます。チェックしない場合、スキャナ動作周波数が 12MHz となります。
レスポンスは下がりますが、バッテリーの消耗を押さえ、EMI 値が下がります。



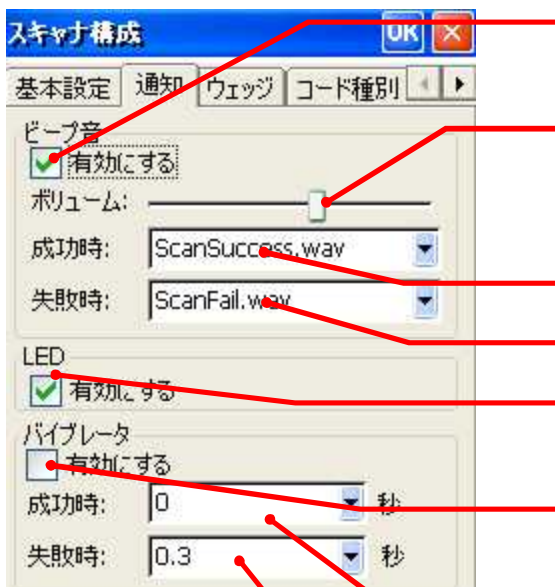
- ・ SCAN キーを押してから読み取り終わるまでの時間を設定します。
(最小 1 秒 ~ 最大 10 秒。1 秒間隔)
- ・ チェックした場合、連続で読み込みを行います。
(最小 0.25 秒 ~ 最大 7.5 秒間隔。0.25 秒間隔)
- ・ チェックした場合、スキャンキーを押している間、バーコード読み込みを繰り返します
- ・ チェックした場合、レーザー枠内のうち、中央に捉えたバーコードのみ読み込みます。
- ・ デコードモードを指定します。
Standard...標準
Advanced Linear...1D バーコードのみデコード
Quick Omni...Standard より高速でデコード
- ・ スキャンして、一定時間経過した後にデコードを行います。
(最小 0msec ~ 最大 1000msec。100msec 間隔)

- ・ 読み込んだバーコードデータの処理方法です。
コピー&ペースト： データが確定された状態で表示されます。
キーボードイベント： データが確定していない状態で表示されます。

- ・ バーコードデータをテキスト表示した後に行われる処理です。
なし： 何も行いません。
CRLF： 改行し、カーソルが列の先頭へ移動します。
CR： 改行します。
LF： カーソルが列の先頭へ移動します。
スペース： スペースを挿入します。
タブ： タブを挿入します。
STX-ETX： テキストデータを送信します

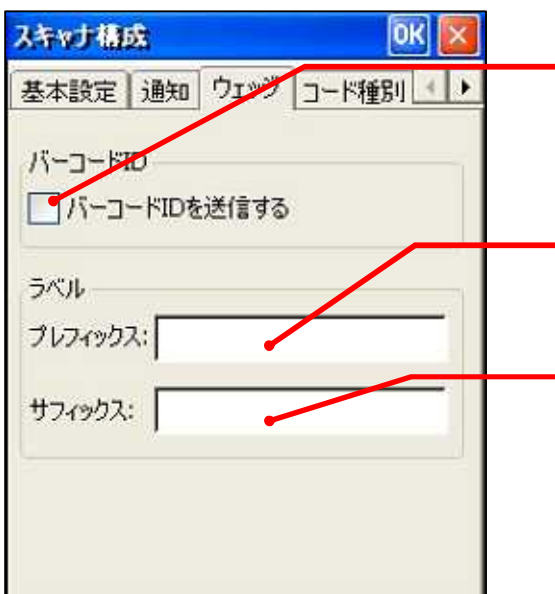
- ・ チェックした場合、読み込んだバーコードデータをテキスト表示します。

5-9-2 通知



- チェックした場合、音を鳴らします。
チェックしない場合、音を鳴らしません。
- 音の大きさを調整します。
左にスライド：音が小さくなります。
右にスライド：音が大きくなります。
- 読み取り成功した場合の音を変更します。
- 読み取り失敗した場合の音を変更します。
- LED ランプを点灯させます。
読み取り成功...緑 読み取り失敗...赤
- チェックした場合、本機を振動させます。
チェックしない場合、振動しません。
- 読み取り成功した場合の振動時間を変更します。(最小0秒～最大3秒)
- 読み取り失敗した場合の振動時間を変更します。(最小0秒～最大3秒)

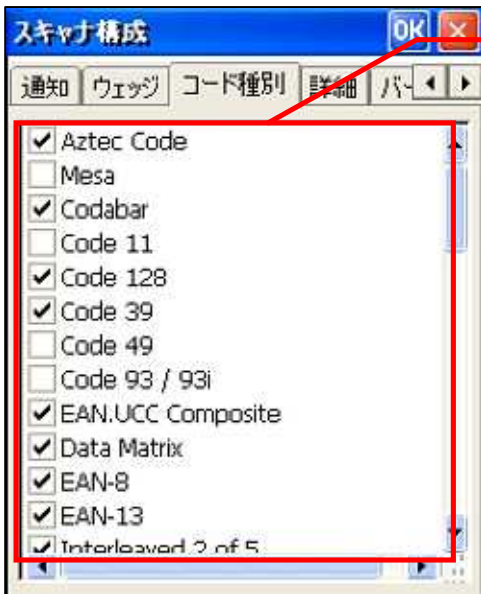
5-9-3 ウェッジ



- チェックした場合、バーコード ID を送信します。
チェックしない場合、送信しません。
- 読み込んだデータの前に挿入するデータを設定します。
- 読み込んだデータの後ろに挿入するデータを設定します。

5-9-4 コード種別

PM250TA (1Dモデル)



- ・読み込み可能なバーコードを設定します。チェックした種類のバーコードを読み込みます。チェックしないバーコードは読み込みません。

全てのバーコードをチェックすると、読込精度が落ちる事があります。使用しないバーコードはチェックしない事を推奨します。

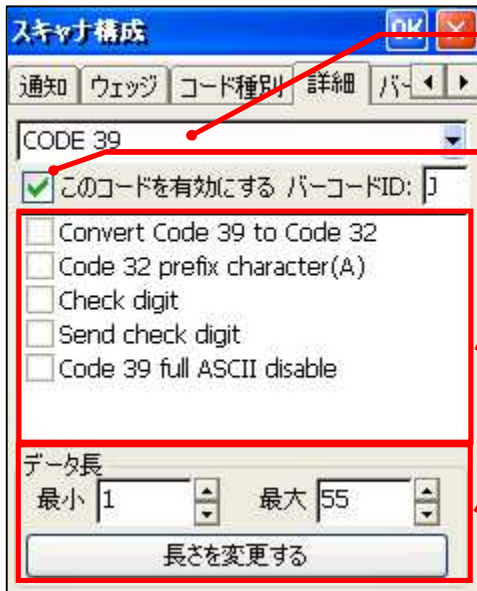
PM250TAH/TAH-B (2Dモデル)



5-9-5 詳細

各バーコードを細かく設定します。

PM250TA (1Dモデル)



- ・設定したいバーコードを選択します。
- ・チェックした場合、そのバーコードは読み込み可能になります。チェックしない場合、そのバーコードは読み込みません。
- ・各バーコードの設定できる部分が表示されます。
- ・読み込むバーコードの桁数を指定します。最小桁数・最大桁数を個別に設定出来ます。

設定を変更したら「長さを変更する」をタップしてください。

右上の「OK」を押しても、設定変更は有効になりません。

PM250TAH/TAH-B (2Dモデル)



5-9-6 バージョン

PM250TA (1Dモデル)



- ・ タップすると、スキャナの設定を工場出荷時の設定に戻します。

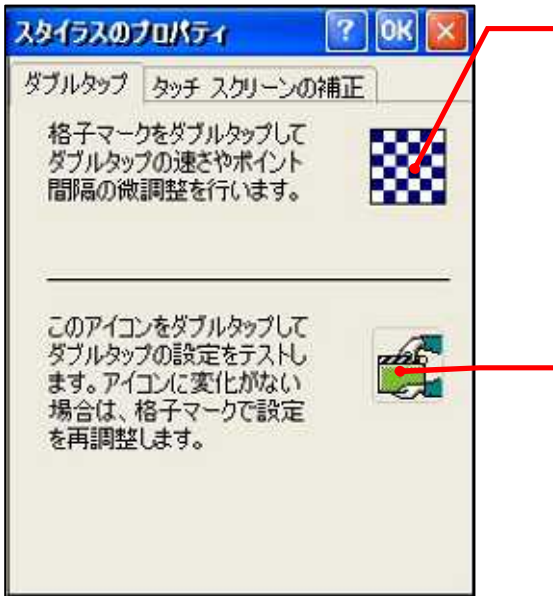
PM250TAH / TAH - B (2Dモデル)



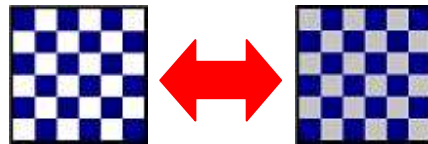
5-10 スタイルスのプロパティ



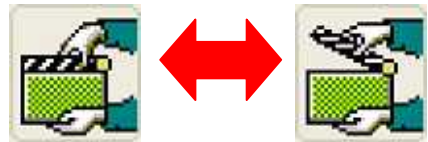
5-10-1 ダブルタップ



- このマークをダブルタップする事により、ダブルタップの速さや間隔を調整出来ます。ダブルタップする度にマークが変化します。



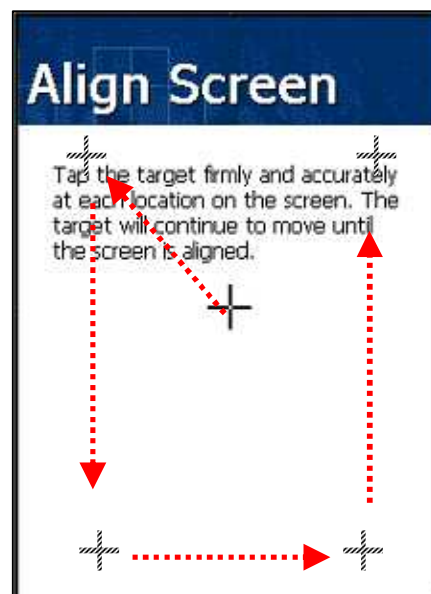
- このマークをダブルタップする事により、上記で調整したダブルタップの速さと間隔をテストする事が出来ます。ダブルタップする度にマークが変化します。



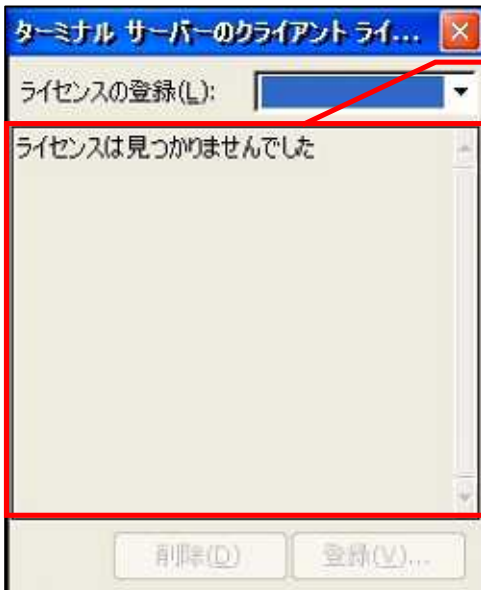
5-10-2 タッチスクリーンの補正



- スタイルスの座標が正しくない場合、タップすることにより、座標の再設定を行う事が出来ます。(計5回タップを行います。)

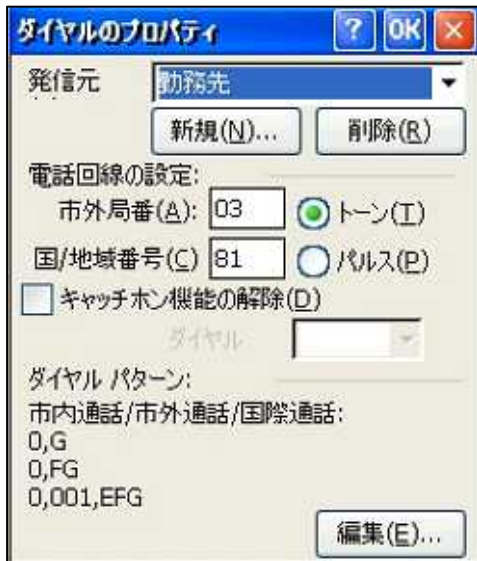


5 - 1 1 ターミナルサーバーのクライアントライセンス




- Windows2000 のターミナルサーバーを使用します。
(別途ライセンス購入が必要です。)

5 - 1 2 ダイアルのプロパティ



本機では使用しません。

5 - 1 3 デバイス管理



- ・クライアントサーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。
- ・チェックした場合、クライアントサーバーと接続する際にセキュリティで保護された接続を使用します。

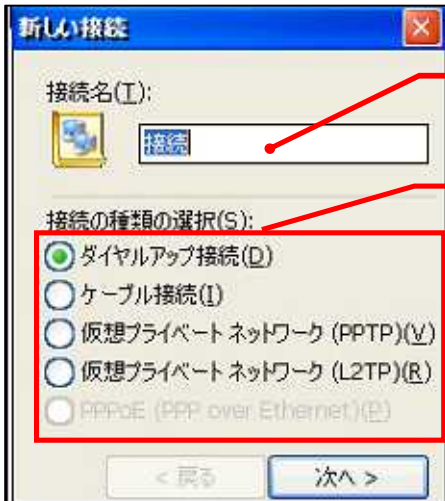
5-14 ネットワークとダイヤルアップ接続



ネットワークとダイヤルアップ接続



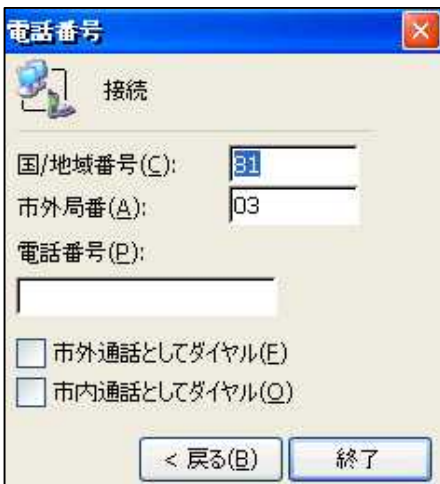
- ・ [新しい接続] をダブルタップしてください。



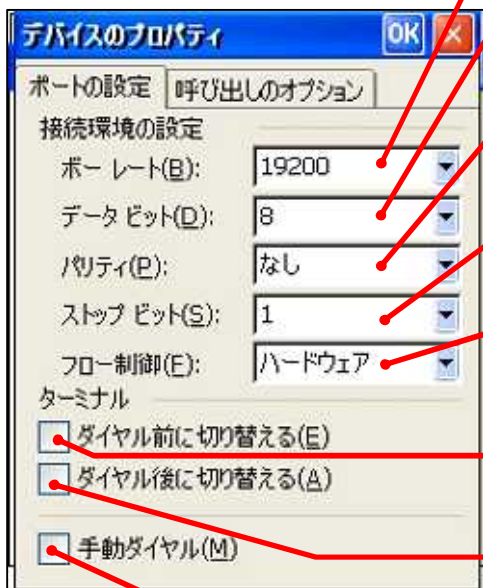
- ・ 接続名称を設定します。
- ・ 接続方法を選択します。



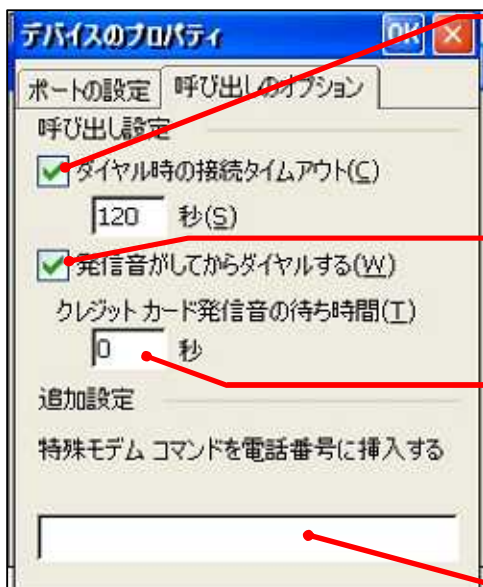
- ・ 接続に使用するモデムを選択します。
- ・ Bluetooth デバイスのスキャン画面を開きます。
- ・ デバイスのプロパティ画面を開きます。
(設定方法は 54 ページ参照)
- ・ TCP/IP の設定画面を開きます。
(設定方法は 55 ページ参照)
- ・ セキュリティの詳細設定画面を開きます。
(設定方法は 56 ページ参照)
- ・ 接続方法の選択画面へ移行します。
- ・ 電話番号入力画面へ移行します。



デバイスのプロパティ

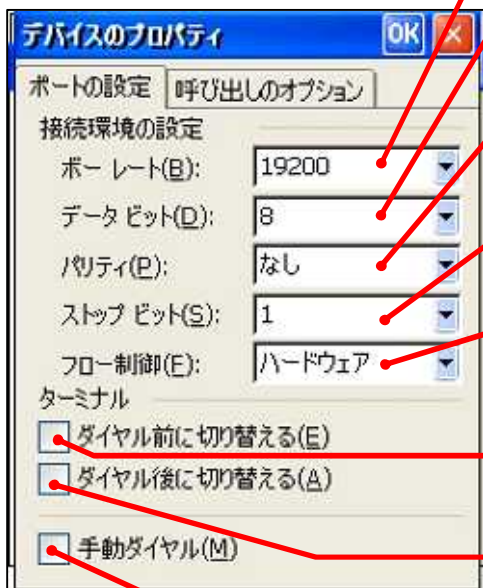


- ・通信速度を設定します。
(最小 110bps ~ 最大 115200bps)
- ・データビット長を設定します。
(最小 4bit ~ 最大 8bit)
- ・パリティチェックの方法を設定します。
(なし / 奇数 / 偶数 / マーク / スペース)
- ・ストップビット長を設定します。
(1bit / 1.5bit / 2bit)
- ・フロー制御方法を設定します。
(ソフトウェア / ハードウェア / なし)
- ・チェックした場合、ダイヤル前にターミナル画面が表示されます。
- ・チェックした場合、ダイヤル後にターミナル画面が表示されます。
- ・チェックした場合、接続を自動で行わず、手動にて接続を行えます。

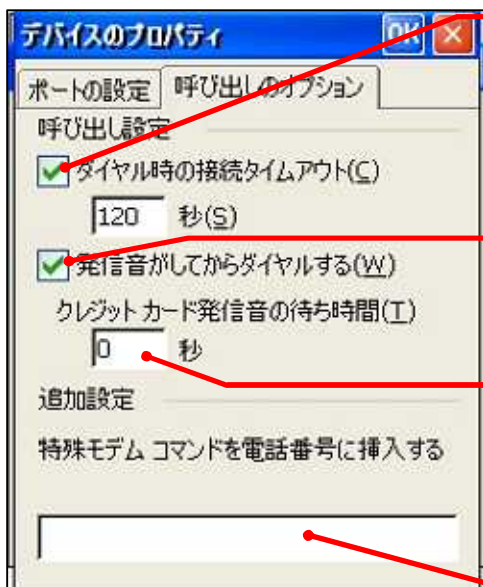


- ・ダイヤル時の接続タイムアウトまでの時間を設定します。
(最小 1 秒 ~ 最大 9999 秒)
チェックしない場合、接続を解除しません。
- ・チェックした場合、発音音がしてからダイヤルを行います。
- ・クレジットカード発音音の待ち時間を設定します。
(最小 0 秒 ~ 最大 9999 秒)
- ・設定した電話番号の前に特殊モデムコマンドを入力します。

デバイスのプロパティ

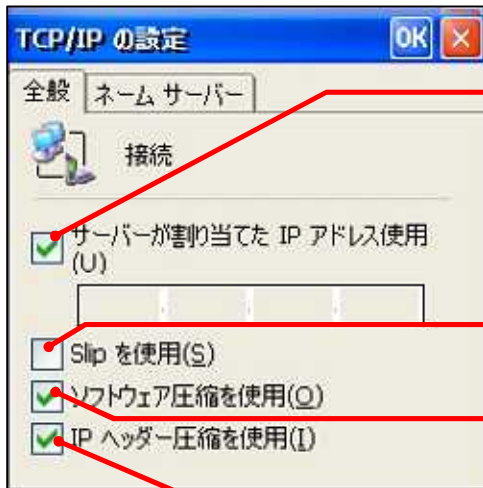


- ・通信速度を設定します。
(最小 110bps ~ 最大 115200bps)
- ・データビット長を設定します。
(最小 4bit ~ 最大 8bit)
- ・パリティチェックの方法を設定します。
(なし / 奇数 / 偶数 / マーク / スペース)
- ・ストップビット長を設定します。
(1bit / 1.5bit / 2bit)
- ・フロー制御方法を設定します。
(ソフトウェア / ハードウェア / なし)
- ・チェックした場合、ダイヤル前にターミナル画面が表示されます。
- ・チェックした場合、ダイヤル後にターミナル画面が表示されます。
- ・チェックした場合、接続を自動で行わず、手動にて接続を行えます。

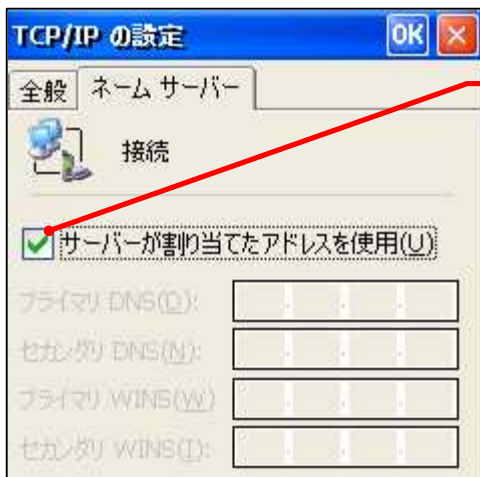


- ・ダイヤル時の接続タイムアウトまでの時間を設定します。
(最小 1 秒 ~ 最大 9999 秒)
チェックしない場合、接続を解除しません。
- ・チェックした場合、発音音がしてからダイヤルを行います。
- ・クレジットカード発音音の待ち時間を設定します。
(最小 0 秒 ~ 最大 9999 秒)
- ・設定した電話番号の前に特殊モデムコマンドを入力します。

TCP/IPの設定

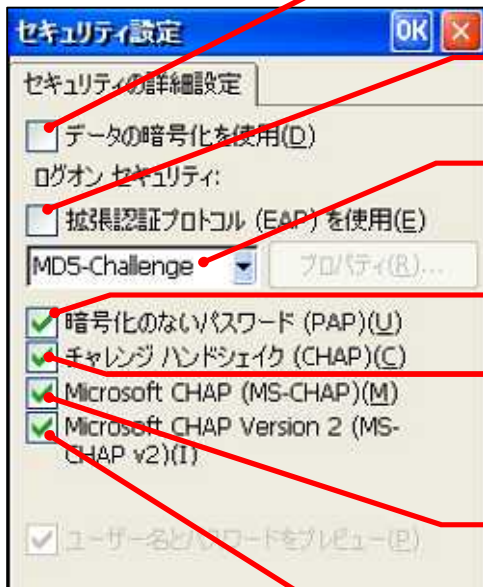


- ・チェックした場合、サーバーにて自動的に IP アドレスを設定します。
チェックしない場合、手動にて IP アドレスを設定します。
- ・チェックした場合、Slip を使用します。
- ・チェックした場合、通信時ソフトウェアにてデータ圧縮を行います。
- ・チェックした場合、VJ 圧縮を行います。



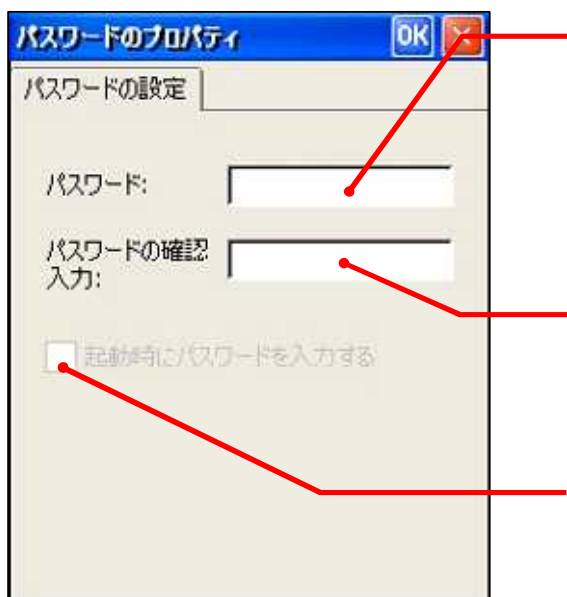
- ・チェックした場合、サーバーにて自動的に IP アドレスを設定します。
チェックしない場合、手動にて IP アドレスを設定します。

セキュリティの詳細設定



- ・チェックした場合、データが暗号化されます。
- ・チェックした場合、EAP を使用します。
- ・選択した EAP を適用します。
(MD5-Challenge / MSV2-Challenge / PEAP / TLS)
- ・チェックした場合、PAP 接続を有効にします。
- ・チェックした場合、CHAP 接続を有効にします。
- ・チェックした場合、MS-CHAPv1 接続を有効にします。
- ・チェックした場合、MS-CHAPv2 接続を有効にします。

5 - 1 5 パスワードのプロパティ



- ・パスワードを設定します。パスワードを設定すると、「所有者情報」及び「パスワード」のプロパティを編集する際にパスワード入力を求められます。
(入力時「*」と表記されます。)
- ・上記で設定したパスワードが正しいか再度同じパスワードを入力します。
(入力時「*」と表記されます。)
- ・チェックした場合、本機起動時にパスワード入力を求められます。
(上記のパスワード及び確認入力の双方が同じでないといこの項目を選択出来ません。)
チェックしない場合、本機起動時にパスワード入力を求められません。

【注意】

パスワードを忘れると本機にログイン出来なくなります。

万一パスワードを忘れてしまった場合はOSの再インストールが必要になります。

(再インストール方法については、別紙「OSアップデートマニュアル」をご参照ください。)

5-16 バックライト

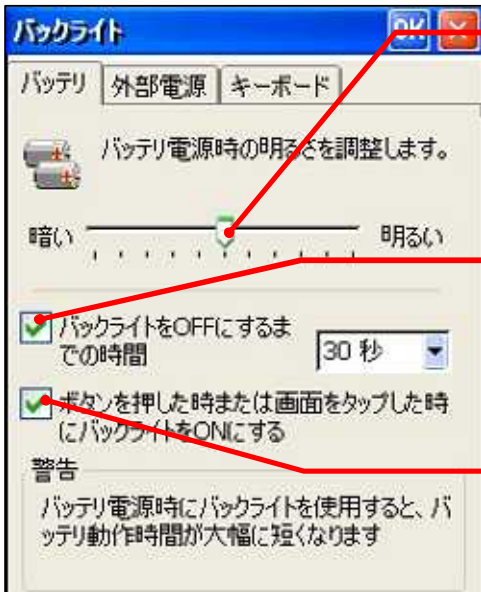
バックライト関連の設定を行います。



バックライト

5-16-1 バッテリー

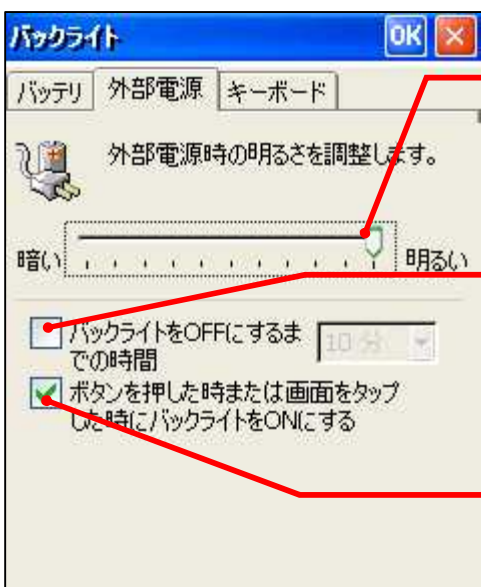
内部電源を使用している場合の設定です。



- ・ディスプレイの明るさを調整します。
左にスライド：暗くなります。
右にスライド：明るくなります。
- ・チェックした場合、右ウィンドウにてバックライト消灯時間を設定出来ます。
(最小10秒～最大5分)
チェックしない場合、常に点灯します。
- ・チェックした場合、ディスプレイをタップもしくはいずれかのキーを押すことによってバックライトが点灯します。
チェックしない場合、反映されません。

5-16-2 外部電源

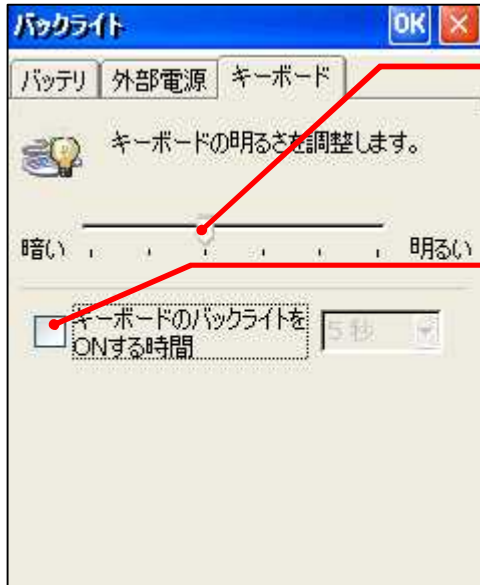
外部電源を接続している場合の設定です。



- ・ディスプレイの明るさを調整します。
左にスライド：暗くなります。
右にスライド：明るくなります。
- ・チェックした場合、右ウィンドウにてバックライト消灯時間を設定出来ます。
(最小1分～最大30分)
チェックしない場合、常に点灯します。
- ・チェックした場合、ディスプレイをタップもしくはいずれかのキーを押すことによってバックライトが点灯します。
チェックしない場合、反映されません。

5-16-3 キーボード

キーボードのバックライト設定です。(内部・外部電源共通)



- ・キーバックライトの明るさを調整します。
左にスライド：暗くなります。
右にスライド：明るくなります。

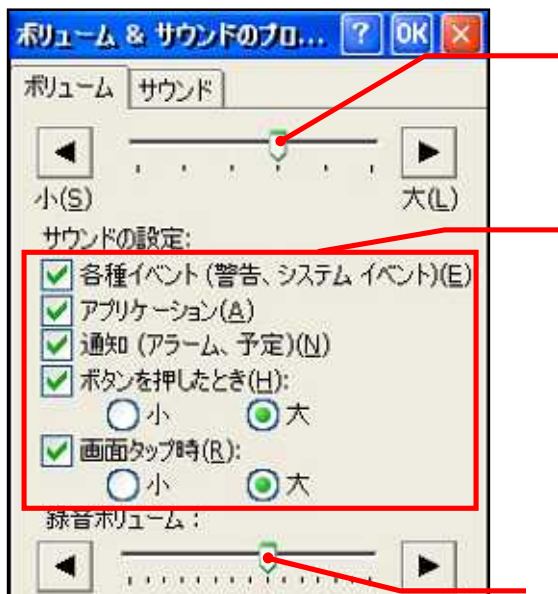
- ・チェックしない場合、バックライトが点灯しません。
(明るさ調整も出来なくなります。)

チェックした場合、右ウィンドウにて
バックライト消灯時間を設定出来ます。
(最小5秒～最大5分)

5-17 ボリューム&サウンドのプロパティ



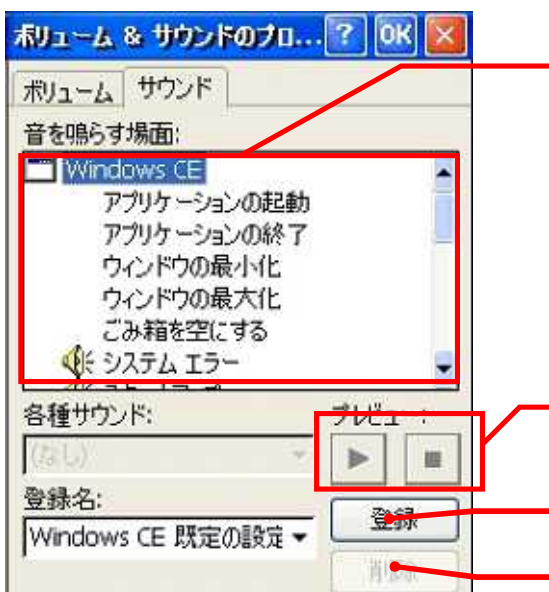
5-17-1 ボリューム



- ・音量を設定出来ます。
左にスライド：音量が小さくなります。
右にスライド：音量が大きくなります。
- ・チェックを行った項目について音を鳴らします。
「ボタンを押した時」「画面タップ時」のみ個別に音量を調整出来ます。(小/大)
チェックを行わなかった項目については音を鳴らしません。

- ・録音ボリュームを設定出来ます。
左にスライド：録音ボリュームが小さくなります。
右にスライド：録音ボリュームが大きくなります。

5-17-2 サウンド



- ・表示された各項目について個別に音を設定します。

- ・設定した音声をプレビューします。

- ・音を登録します。

- ・登録されている音を解除します。

5-18 画面のプロパティ

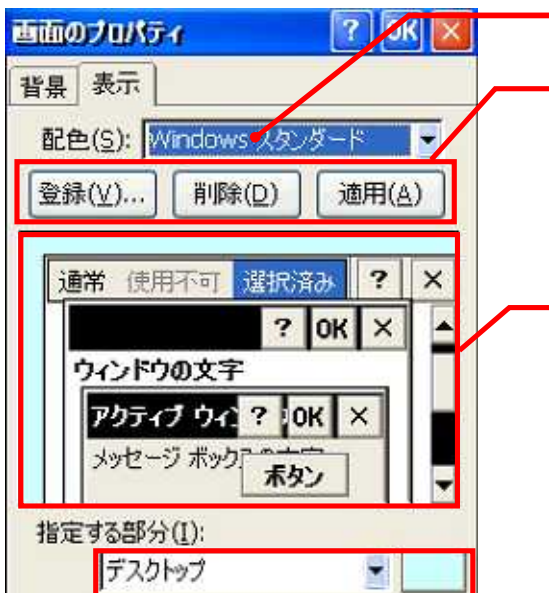


5-18-1 背景



- ・背景に使用する画像を選択出来ます。
- ・チェックした場合、選択された画像のサイズが小さい時は、画像を複数並べて表示します。チェックしない場合、画面の中央に画像が表示されます。
- ・画像のプレビューが表示されます。

5-18-2 表示



- ・登録された配色を選択します。
- ・登録...配色のテンプレートを登録します。削除...配色のテンプレートを削除します。適用...配色のテンプレートを適用します。
- ・配色のプレビューが表示されます。
- ・登録された配色を指定する部分を選択します。

5 - 1 9 記憶域のプロパティ



- ・本機にインストールされているフラッシュメモリの現在の情報を表示します。

5 - 2 0 所有者情報のプロパティ



所有者情報

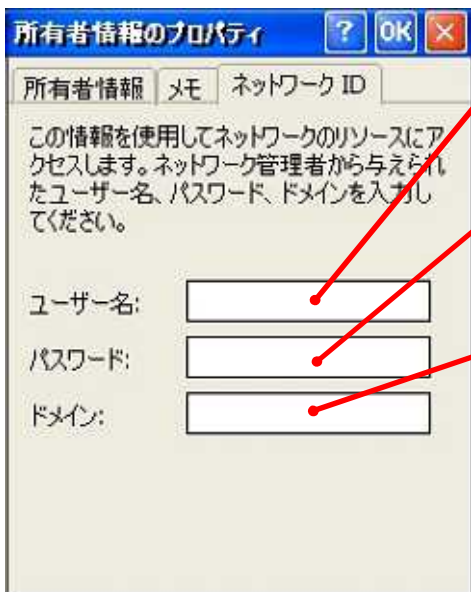
5 - 2 0 - 1 所有者情報

- ・所有者の名前を登録出来ます。
- ・所有者の勤務先を登録出来ます。
- ・所有者の住所を登録出来ます。
- ・所有者の TEL (勤務先) を登録出来ます。
- ・所有者の TEL (自宅) を登録出来ます。
- ・チェックした場合、本機を立ち上げた際にディスプレイに所有者情報を表示します。

5 - 2 0 - 2 メモ

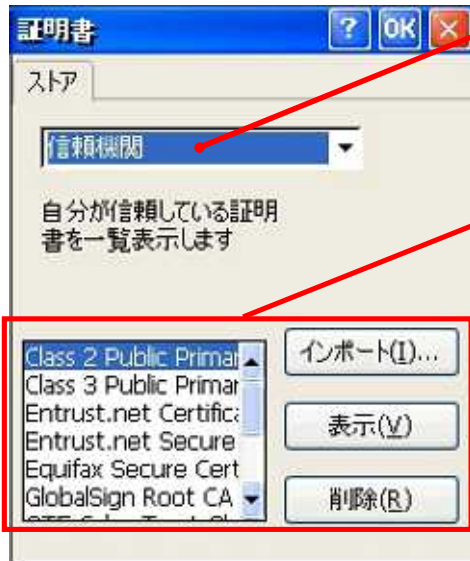
- ・メモを記入出来ます。
- ・チェックした場合、本機を立ち上げた際にディスプレイにメモを表示します。

5-20-3 ネットワーク ID



- ネットワークにアクセスする為のユーザー名を登録します。
- ネットワークにアクセスする為のパスワードを登録します。
- ネットワークにアクセスする為のドメインを登録します。

5 - 2 1 証明書



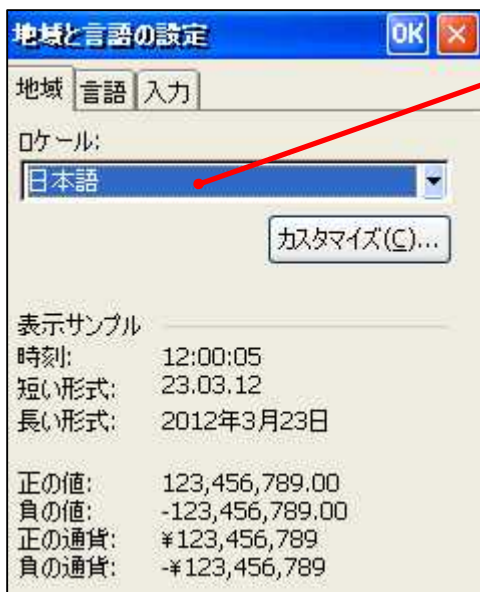
・ 証明書を発行した機関を選択します。

・ 証明書が発行されている場合、一覧に表示されます。

5 - 2 2 地域と言語の設定

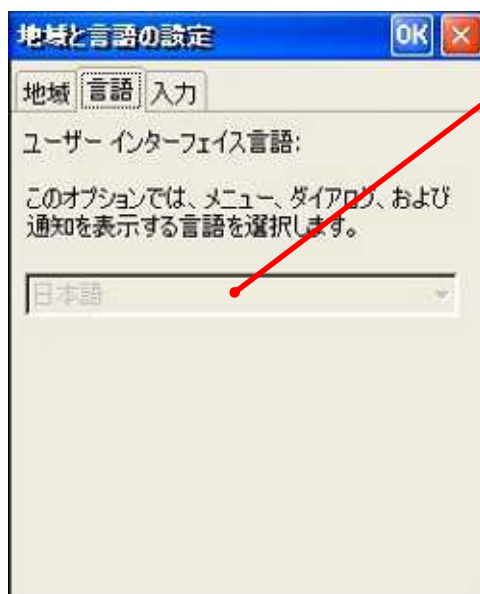


5 - 2 2 - 1 地域



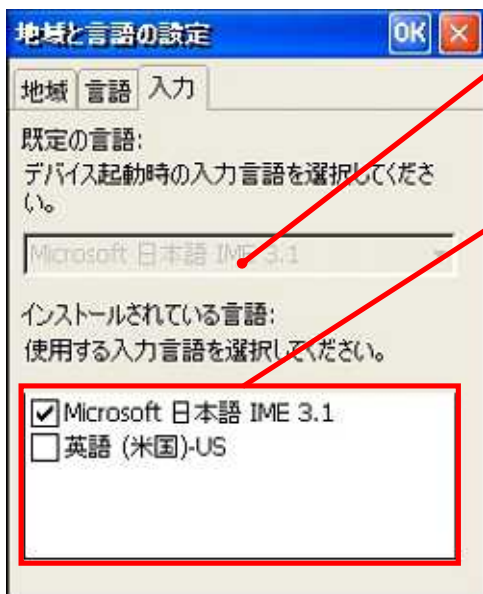
- ・ 単位 / 日付 / 通貨等の表示規則を設定します。

5 - 2 2 - 2 言語



- ・ インターフェイス上で使用する言語を選択します。

5-22-3 入力



- 本機にデータ入力する際に使用する言語を設定します。
- 現在本機にインストールされている入力言語が表示されます。チェックを行った言語が使用されます。

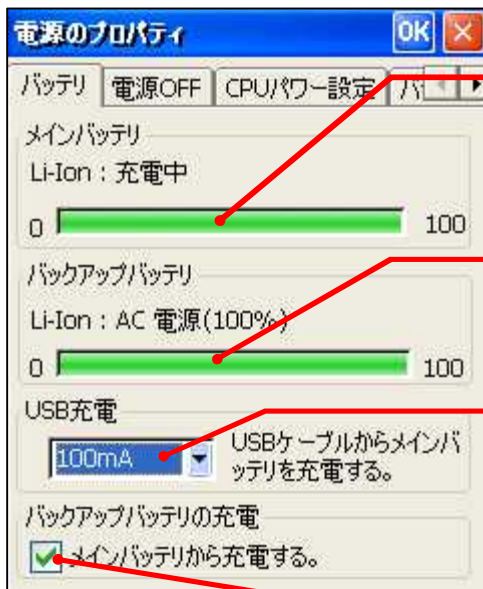
5 - 2 3 電源

電源関連の設定を行います。



5 - 2 3 - 1 バッテリー

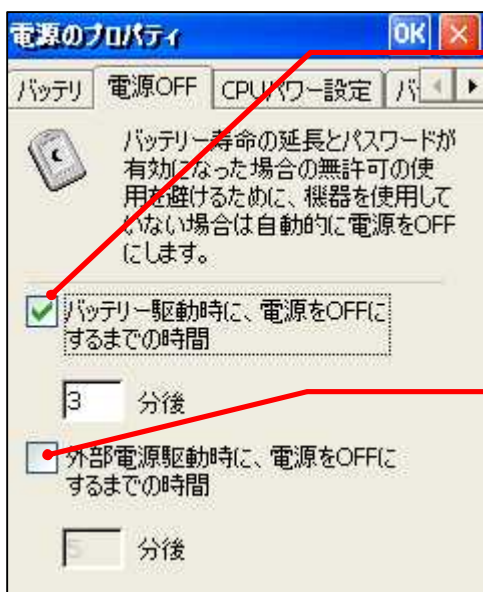
内部電源（バッテリー）を使用している場合の設定です。



- ・メインバッテリーの残量を表示します。
- ・バックアップバッテリーの残量を表示します。
- ・USBからの充電可否を設定します。
(OFF / 100mA / 500mA)
- ・チェックした場合、外部電源を接続していない場合にメインバッテリーからバックアップバッテリーが充電されます。

5 - 2 3 - 2 電源 OFF

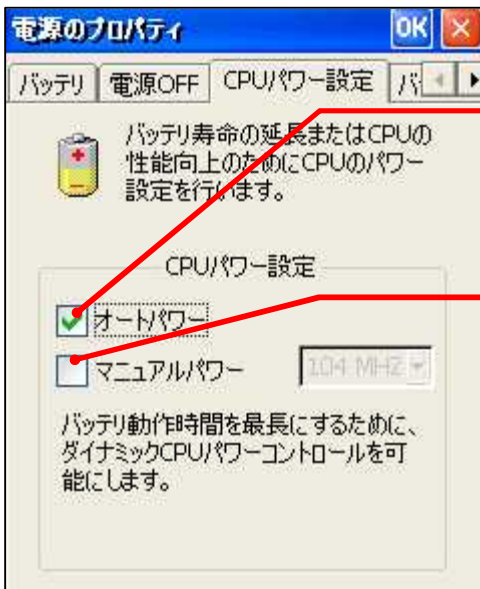
電源を切る際の設定です。



- ・チェックした場合、本機を一定時間操作しなかった場合、自動的に電源を OFF します。
(内部電源使用時) (最小1分～最大5分)
チェックしない場合、自動的に電源が OFF されません。
- ・チェックした場合、本機を一定時間操作しなかった場合、自動的に電源を OFF します。
(外部電源使用時) (最小1分～最大30分)
チェックしない場合、自動的に電源が OFF されません。

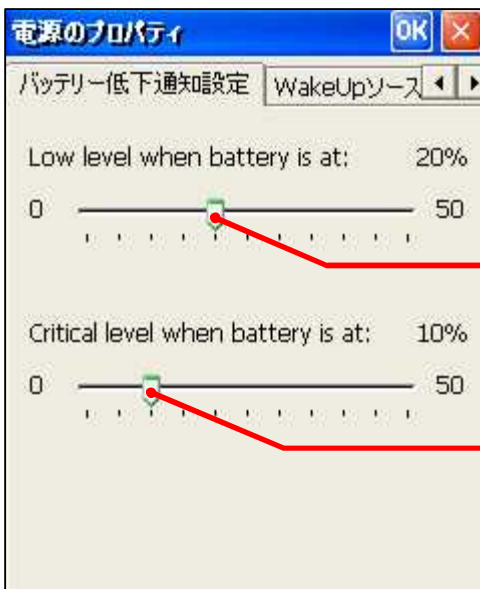
5 - 2 3 - 3 CPU パワー設定

CPU の電源設定です。



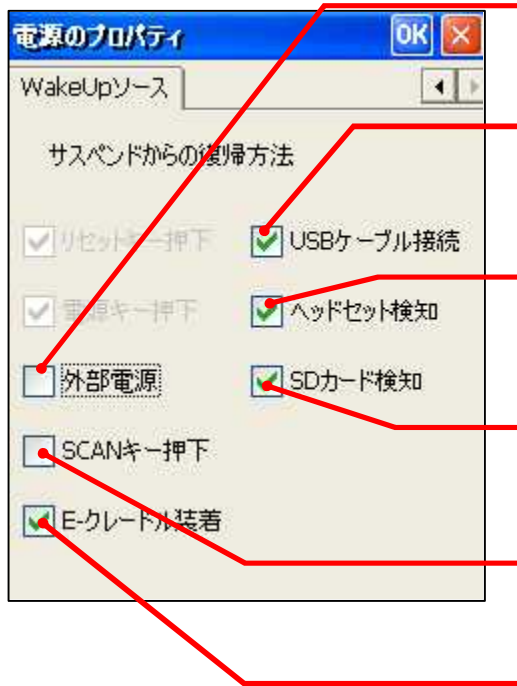
- ・チェックした場合、CPU のクロック数が自動的に制御されます。
- ・チェックした場合、CPU のクロック数が右枠で設定した数値で固定されます。
(104 / 416 / 624MHz)

5 - 2 3 - 4 バッテリー低下通知設定



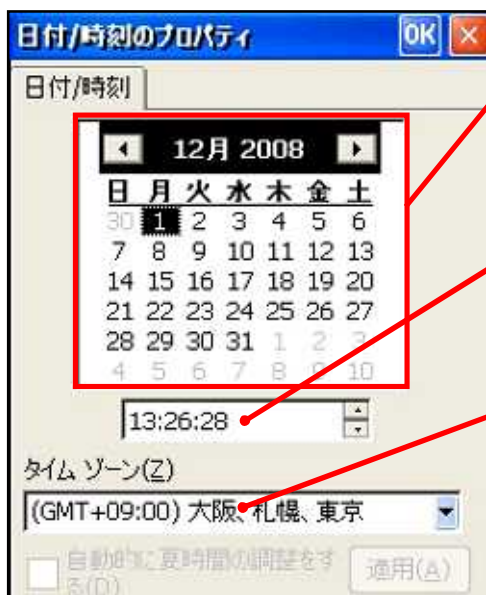
- ・バッテリーの残量低下時の警告を表示するタイミングが設定出来ます。
- ・バッテリーの交換警告を表示するタイミングが設定出来ます。

5-23-5 WakeUpソース



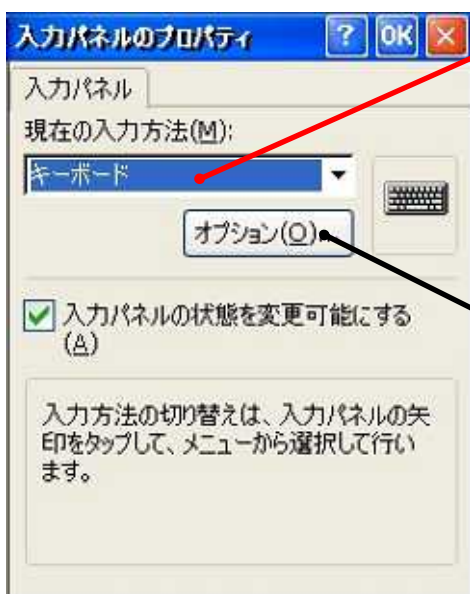
- ・チェックした場合、外部電源を入力する際、サスペンド状態から復帰します。
- ・チェックした場合、USB ケーブル接続を行った際、サスペンド状態から復帰します。
- ・チェックした場合、ヘッドセットを挿入する際、サスペンド状態から復帰します。
- ・チェックした場合、microSD カードを挿抜する際、サスペンド状態から復帰します。
- ・チェックした場合、SCAN キーが押された際、サスペンド状態から復帰します。
- ・チェックした場合、E-クレードルと接続する際、サスペンド状態から復帰します。

5 - 2 4 日付 / 時刻の設定



- ・現在の年月日をカレンダー上にて設定します。
「12月」「2008」をタップすると簡単に日付変更が出来ます。(23ページ参照)
- ・現在の時刻を設定します。
- ・タイムゾーンを設定します。

5 - 2 5 入力パネルのプロパティ



- ・現在使用している入力方法が表示されます。設定を行いたい入力方法を選択します。



- ・ソフトキーボードのサイズを変更します。

キーボード小



キーボード大



- ・チェックした場合、スタイルスを下記方向にスライドさせる事により個別の動作を実行出来ます。
チェックしない場合、ジェスチャ機能を使用しません。

5 - 2 6 無線 LAN 設定



無線LAN設定

5 - 2 6 - 1 状態

無線LAN設定

状態 IP 設定 詳細設定 バージョン

現在のチャンネル

現在のTX速度 Mb/s

RSSI dbm

状態

ネットワーク名 (SSID)

ネットワーク名 (BSSID)

認証

暗号化

IPアドレス

・現在の通信状態が表示されます。

5 - 2 6 - 2 IP

無線LAN設定

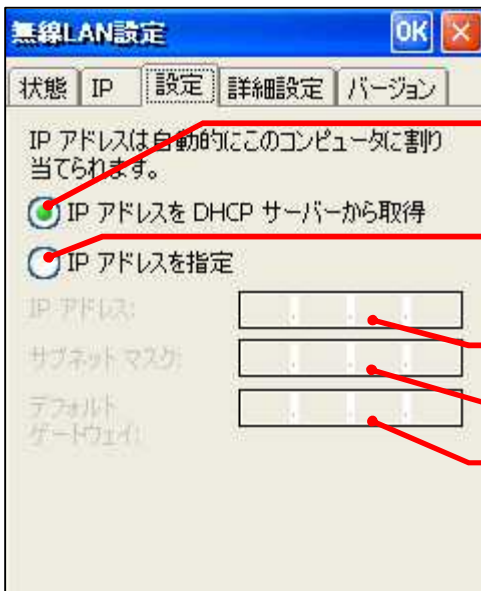
状態 IP 設定 詳細設定 バージョン

IPアドレス:
サブネットマスク:
デフォルトゲートウェイ:
DHCPサーバ:
リース開始日時:
リース終了日時:
システム時刻:
MACアドレス:
DNSサーバ:
プライマリWINSサーバ:
制御ドメイン:

パブリックIP 更新

・本機の通信設定及びサーバの設定が表示されます。

5-26-3 設定



- チェックした場合、DHCP サーバー機能を使用し、各アドレスを自動取得します。
- チェックした場合、各アドレスを手動にて設定出来ます。
- IP アドレスを設定します。
- サブネットマスクを設定します。
- デフォルトゲートウェイを設定します。

5 - 2 6 - 4 詳細設定



- ・ タップする事により WLAN の接続 / 切断が出来ます。



...接続中



...切断中

- ・ チェックした場合、Max Power モードとなり WLAN が常に起動している状態になります。このモードにする事によりサーバーからのリクエストコマンドに対して即返信する事が出来ます。(但し、バッテリーの消費量が多くなる為、本機の動作時間が短くなります。)

チェックしない場合、ノーマルパワーモードとなり WLAN が待機と起動を繰り返している状態になります。

このモードにする事によりサーバーからのリクエストコマンドに対して若干の遅延が発生します。(100 ~ 200msec 程度)

(但し、バッテリーの消費量が少なくなる為、本機の動作時間が長くなります。)

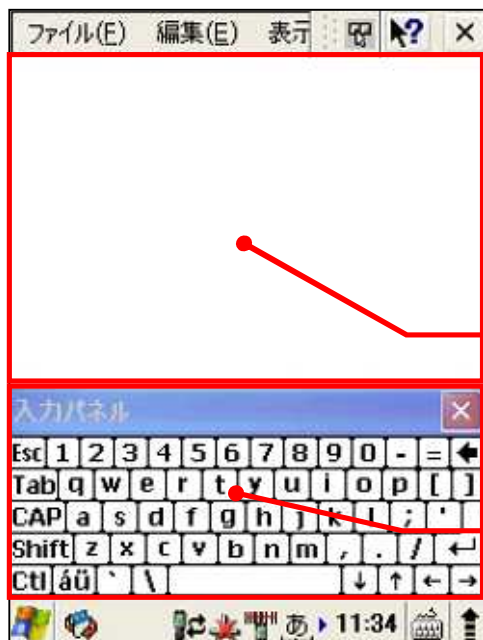
- ・ 受信感度のしきい値を設定します。設定されたしきい値以下になった場合、他のアクセスポイントと切り替えます。

- ・ チェックした場合、電源プロパティにて一定時間経過後に本体電源を OFF にする設定になっていても、WLAN の電源が OFF にならない限り、本体の電源は OFF されません。(但し、電源ボタンを押した場合は本体の電源は OFF されます。)

6 プリインストールソフトウェア

6-1 ワードパッド

本製品には WindowsCE.NET 版のワードパッドがインストールされています。
本ソフトウェアは以下のテキスト及びドキュメントファイルを編集出来ます。



- ・テキストファイル (*.txt)
- ・Word ドキュメントファイル (*.doc)
- ・リッチテキストファイル (*.rtf)
- ・ワードパッド (*.pwd)

・ワードパッドの編集画面です。

・スタイラスを使用して文字を入力します。

6-2 インターネットエクスプローラ

本製品には WindowsCE.NET 版のインターネットブラウザがインストールされています。



・ブラウザ画面です。

7 仕様

7-1 PM250仕様

			1次元モデル	2次元モデル	抗菌モデル
			PM250TA	PM250TAH	PM250TAH-B
OS			Microsoft® Windows CE 5.0 Professional 日本語版		
制御部	CPU		Marvell® PXA300 624MHz 32bit RISC プロセッサ		
	メモリ	RAM	128MB RAM		
		ROM	128MB FlashROM		
拡張メモリスロット			microSD カード対応(最大 8GB)		
表示部	ディスプレイ		2.8 インチカラーTFT LCD タッチパネル 65,536 色 QVGA(240×320 ドット)		
	バックライト		LED バックライト		
スキャナ部	方式		1次元 レーザースキャナ <25.5° 傾斜>	2次元 イメージスキャナ <48° 傾斜>	
	1次元シンボル		EAN8/13(JAN8/13), Bookland EAN, UPC-A/-E/-E1, Code11,Code39, Code93,Code128 UCC/EAN128(GS1- 128),ISBT128, Interleaved 2of5, Discrete 2of5, Chinese 2of5, Codabar(NW-7), GS1 Databar(RSS14, RSSLimited,RSS Expanded),MSI, Trioptic Code39, UCC_Coupon	EAN8/13(JAN8/13),UPC-A/-E, UPC-A with Expanded Coupon Code, Code11,Code32 Pharmaceutical, Code39,Code93/93i,Code128, UCC/EAN128(GS1-128), Codabar(NW-7),GS1 Databar (RSS14,RSSLimited,RSS Expanded), MSI,Plessey Code,Trioptic Code39,PosiCode,Telepen, Interleaved 2of5,Matrix 2of5,Straight 2of5(IATA), Straight 2of5(Industrial), ISBT128	
	2次元シンボル		-	Aztec Code,Mesa,Datamatrix, MaxiCode,QR Code,Micro QR Code, Code49,Codablock F,PDF417, MicroPDF417,Code16K, TCIF Linked Code39, EAN,UCC Composite	
	郵便シンボル		-	Postnet,British Post, Canadian Post,Australian Post, Japanese Post,Planet Code, KIX(Netherlands)Post, China Post,Korea Post, 4-CB(4-State CustomerBarcode), ID-Tag(UPC 4 State)	
	OCR		-	OCR	

			1次元モデル	2次元モデル	抗菌モデル
			PM250TA	PM250TAH	PM250TAH-B
入力部			スキャンキー（フロント・サイド（左右））、カーソルキー、ファンクションキー（F1～F4） ¹ 、テンキー（0～9、・）、機能キー（ENT、ESC、BKSP、SP、CTRL、FUNC、ALPHA）、電源キー、リセット、タッチパネル		
サウンド			スピーカ、マイクロフォン、イヤホン(ステレオ)		
パイプレーター機能			パイプレーションモーター搭載		
音声機能			ソフトウェアの設定により VoIP 通話可能		
インターフェース	無線通信	無線 LAN	IEEE802.11b/g		
		Bluetooth	Bluetooth Ver2.0 + EDR 準拠(Class2)		
	シリアル通信	USB	USB1.1(専用コネクタ USB コネクタ)		
	クレードル部 ²		RS232C(最大 115.2kbps),USB(USB1.1),Ethernet ³		
セキュリティ(無線 LAN)			WEP, 802.1x,LEAP, TKIP, MD5, EAP-TLS, EAP-TTLS,WPA-PSK, WPA2 Encryption,PEAP		
電源部	仕様 / 動作時間	メインバッテリー	リチウムイオンバッテリー 標準バッテリー : 3.7V,2,200mAh / 約 11 時間 大容量バッテリー ² : 3.7V,3,300mAh / 約 16.5 時間		
		サブバッテリー	バックアップバッテリー : 100mAh / 約 72 時間		
	AC アダプタ		AC100 ~ 240V		
環境性能	動作・保存温度		動作温度 / -10 ~ 60 保存温度 / -20 ~ 70		
	動作・保存湿度		5 ~ 95%RH (結露なきこと)		
	防塵・防水機能		IP64 準拠(耐塵・防沫型)		
	耐静電気機能		接触放電: ±8kVdc 空中放電 / ±15kVdc		
	落下強度 (コンクリート上)		1.5m	1.2m	
	耐アルコール		-	濃度 99.5%のアルコール拭き取り可能 (印刷面:50回、ハウジング:無制限)	
準拠規格	4	-	ISO22196 抗菌適合 (SIAA マーク取得)		
外形寸法			約 175×66(58)×26.8mm ()内はグリップ部		
質量			250g(標準バッテリー含む) 275g(大容量バッテリー含む)		
付属品			ハンドストラップ、標準バッテリー、スタイラスペン、AC アダプタ、クイックマニュアル		

¹ F1～F4、1～3 は FUNC キーと同時押しにてファンクションキー（F5～F11）として使用可能

² 別売品

³ Ethernet は 250-EB のみ対応。

バッテリーの寿命は、使用環境により異なります。

メインバッテリーは当社基準連続利用試験(無線未接続で 0.5 秒間隔のスキャナ読み込み)による動作時間。

サブバッテリーはサスペンドモードでの保持時間。

コンクリート上への落下耐久試験(6面)の試験値であり、保証値ではありません

本体筐体部に SIAA マークを取得しています。

本仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

7-2 クレードル、E-クレードル仕様



		クレードル / E-クレードル
		250-HB / 250-EB
外形寸法		約 135 × 115 × 80mm
重量		250-HB : 313g 250-EB : 320g
環境性能	動作温度	0 ~ 40
	保存温度	-20 ~ 60
	充電温度	0 ~ 40
	耐静電気機能	接触放電: ±8kVdc 空中放電 / ±15kVdc
湿度		0 ~ 90%(結露なきこと)
電源部	入力	AC100 ~ 240V / 0.3A 50 ~ 60MHz
	出力	DC5V / 2A
充電	充電時間	標準バッテリー : 4時間 大容量バッテリー : 6時間
	最大充電負荷	最大 2A
	待機電流	100mA 以下
インターフェース		共通 : USB(最大 12Mbps), シリアル(最大 115Kbps) 250-EB : Ethernet
付属品		USB ケーブル

7-3 マルチバッテリー充電器仕様



		マルチバッテリー充電器
		250-QC
		約 185 × 95 × 60mm
外形寸法		
重量		325g
環境性能	動作温度	0 ~ 40
	保存温度	-20 ~ 60
	充電温度	0 ~ 40
	耐静電気機能	接触放電: ± 8kVdc 空中放電 / ± 15kVdc
	湿度	0 ~ 90%(結露なきこと)
電源部	入力	AC100 ~ 240V / 1.2A 50 ~ 60MHz
	出力	DC5V / 4A
充電	充電時間	標準バッテリー : 4 時間 大容量バッテリー : 6 時間
	最大充電負荷	最大 4A
	待機電流	100mA 以下
付属品		AC アダプタ

付録1 サンプルバーコード

・1次元サンプルバーコード(1/2頁)



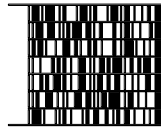
・1次元サンプルバーコード(2/2頁)



・2次元サンプルバーコード(1/2頁)



Aztec Code



Code 49



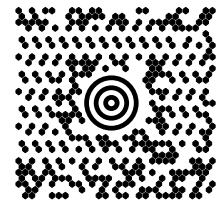
Data Matrix



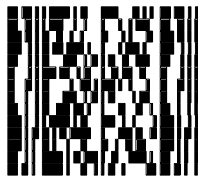
QR Code



PDF417



MaxiCode



MicroPDF417



Codablock F

・2次元サンプルバーコード(2/2頁)

Postnet



Australian Post



British Post(BPO)



Japanese Post



KIX (Netherlands) Post



Korea Post



Planet Code



4-CB(4-State Customer Barcode)

